文部科学省検定済教科書　高等学校外国語科用　231 いいずな　論Ⅰ 718　231 いいずな　論Ⅰ 717
内容解説資料★

English Logic and Expression Ⅰ
Smart / Clear

令和4年度用
論理・表現Ⅰ 教科書
ダイジェスト版

1. 文法を軸に表現力の基礎を養成
2. 演習 ➡ 発信活動のスムーズな橋渡し
3. 目標・レベルに応じて選べる2シリーズ

IIZUNA SHOTEN

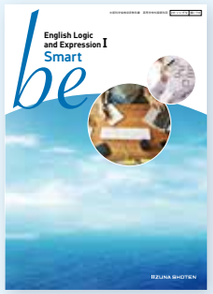
LINEUP

論理・表現 教科書ラインアップ

目標と学力に応じた選択が可能な3レベル

★★★ 標準～発展 be Smart

文法の定着を図り
発信力を養う

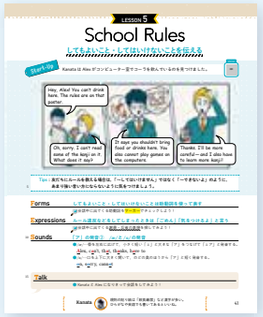


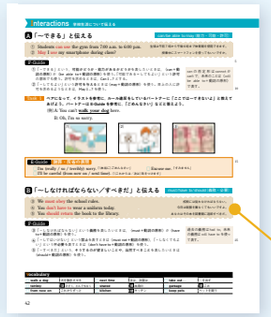
★★ 標準 be Clear

基礎を固めて
表現力を身につける

★ 基礎 Harmony

楽しく英語を使いながら
文法力を身につける

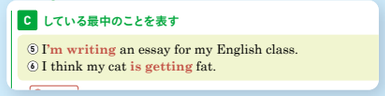




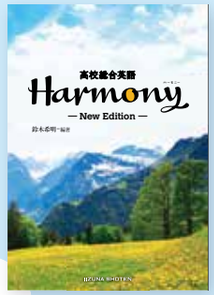
POINT

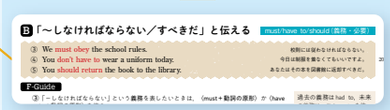
掲載例文は
対応の各参考書と
完全一致！

対応
参考書



対応
参考書





関連教材ラインアップ

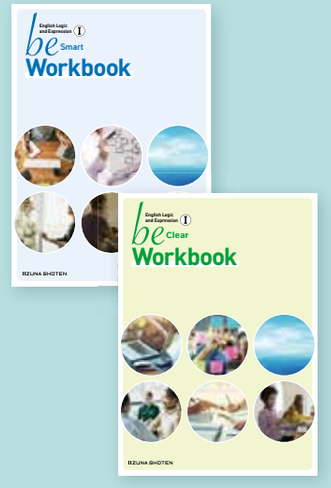
さまざまな授業スタイル・授業目的をカバーする
生徒用、指導用の多彩なバックアップ教材

生徒用

Grammar Book

Smart / Clear

文法学習徹底サポート



Workbook

Smart / Clear

アウトプットの基礎力養成

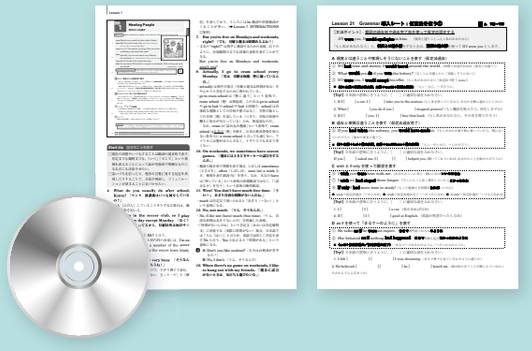
My English Portfolio

Smart / Clear

教科書学習の伴走として

指導用

指導資料セット



1. 指導書本冊
2. Teacher's Book
   - 解説+英語での授業展開
3. 補助プリント
   - Grammar導入シート
   - SHARE/WRITEワークシートなど
4. 小テスト・評価問題集
   - 各課・単元の習熟度確認
5. DVD-ROM
   - 授業や課題に使用できるプリント類
   - 教科書本文・和訳データ
   - パワーポイント・テストクリエイター

be

論理・表現教科書の特徴　文法を軸とするシンプルな4ページ構成

❶導入（1ページ目）
▼
❷定着（2、3ページ目）
▼
❸発展（4ページ目）の3ユニット構成。

❶文法・機能表現を含むモデル会話
▼
❷文法解説とCHECK（文法問題）・TASK（活動）
▼
❸文法・機能表現を使った自己発信活動を通して，論理と表現力が身につく。

PLUS

Introductionで5文型と品詞の基礎を学ぶ

本課を学ぶ前に，英語の基礎を体系的に学習できる。

●5文型の詳しい解説　●品詞の理解

1 モデル会話で導入

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up ▶ 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No. I live far from here, so I usually take the train. It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I can walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: Oh, really! You're lucky! I don't like the long train ride.

Tips for Better Communication　相手からの問いかけに答えたら，もう１つ情報を加えましょう。会話にリズムが生まれ，その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。　QR

FORMS 現在のことは現在形で表す

現在のことを伝えるときには，**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと，住んでいる所のような**現在の状態**や，**いつもすること**を表すことができます。

I **live** far from here.
I **take** the train.

このような文の動詞の現在形が表すのは，「今」を中心として，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば，今現在だけのことではなく，「いつも徒歩通学なの？」とたずねているのです。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

Oh, really! のようなあいづちを打つことで，「そうなんだ！」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。Really?なら「そうなの？」というニュアンスです。

"I got a new smartphone yesterday." "**Really!** The newest model?"

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上の歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

live, lucky, like, long, play, usually, only, school / really, ride, from, train, friend, free, every
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し，Mikeと Shotaになりきって会話をしてみよう！

Pick-Up　「（学校には）電車で来ます」と言うとき，交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも通じますが，**I take the train.**とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike［bicycle］.という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

21

Start-Up

さまざまな場面の会話を通して，英語の基本形や語順（FORMS），コミュニケーションに必要な表現（EXPRESSIONS），発音・アクセント（SOUNDS）を意識しながら，話す練習（TALK）をします。

2 文法項目の確認と定着

INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す　現在形：状態動詞

① I **like** cats very much.
② My uncle **has** two cars.

G-GUIDE
①好きなものや思っていることなど，**現在の心理的な状態**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。
②持っているものや住んでいる所のような**現在の状態**を表すときも，動詞の**現在形**を使う。

CHECK イラストに合うように，与えられた動詞を使って英文を完成させよう（否定文にする場合もある）。

［ resemble / like / live / believe / have / wear ］

I have a little brother and two sisters. My brother still (　　) in ghosts, so he (　　) haunted houses. My sisters are twins and really (　　) each other. They sometimes (　　) the same clothes. My grandfather (　　) in Okinawa. He (　　) a dog and takes it for a walk every morning.

TASK 上のCHECKを参考にして，自分の家族を紹介しよう。

B いつもすることを表す　現在形：動作動詞

③ I *usually* **get** to school at 8:30.
④ My mother **teaches** biology at a high school.

G-GUIDE
③**繰り返しすること**や**習慣になっていること**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと**頻度**を表すことができる（always > usually > often > sometimes > rarely > never）。
④**職業**や**習性**，**話す言語**などを表すときも，動詞の**現在形**を使う。

CHECK 父親のことについて書いた高校生の文章を完成させよう。

My father (　　) for a car company. He likes cars, but he rarely (　　). He gets up very early in the morning and (　　) home at seven. He (　　) the bus and the train to work. He usually (　　) home before dinner. He works very hard.

⇒ACTIVE LEARNING のWRITEの活動（p.24）で，Bの表現を活用しよう。

VOCABULARY

- be good at（〜が得意である）
- resemble（〜に似ている）
- be a graduate of（〜の卒業生である）
- come from（〜出身である）
- walk to school（徒歩通学する）
- work for（〜で働く）
- get up at（〜時に起きる）
- brush one's teeth（歯を磨く）
- get dressed（着替える）
- have［eat］breakfast（朝食をとる）
- leave for school（学校に出かける）
- get to school（学校に着く）
- do club activities（部活動をする）
- go to cram school（塾に行く）
- come［get］home（家に帰る）
- a haunted house（お化け屋敷）

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□ A 現在の状態を表すことができる。
□ B いつもすることを表すことができる。
□ C している最中のことを表すことができる。
□ D これからの予定を現在進行形で表すことができる。

22

C している最中のことを表す　現在進行形

⑤ I'**m writing** an essay for my English class.
⑥ I think my cat **is getting** fat.

G-GUIDE
⑤**している最中のこと**を表すときは，**現在進行形**（am/are/is＋動詞のing形）を使う。
⑥**変化している最中のこと**や**一時的な状態**を表すときも，**現在進行形**を使う。

CHECK 2人の会話を聞いて，空所を埋めよう。

Kenta and Andy are talking on the phone.
Kenta: What are (　　) (　　)?
Andy: (　　) (　　) a poster for my presentation. I have to finish it tonight, but I'm (　　) tired.
Kenta: That's too bad. Tom and I (　　) (　　) games online now, but we can help you.
Andy: Really? That's very kind of you!

TASK 上のCHECKの会話を参考にして，電話をかけているという設定で会話をしてみよう。その際，時間帯は休日や夜など自由に設定しよう。

G-GUIDE
相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
・I see.（なるほど）　・Yes, indeed.（確かに）　・I think so, too.（私もそう思います）
・I can't believe it!（信じられない！）　・Really?（本当？）　・No way!（ありえない！）
・That's nice［good / great / wonderful / fantastic］!（すばらしい！）　・That's too bad.（それはお気の毒に）
・I'm sorry to hear that.（それは残念です）　・You're kidding!（冗談でしょ！）　・Are you serious?（本当に？）

D これからの予定を表す　現在進行形・予定

⑦ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.

G-GUIDE
⑦これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに，**現在進行形**を使うことができる。

TASK 今日の午後、または週末の予定について会話をしてみよう。

A: What **are** you **doing** after class?
B: I'**m meeting** Chris to talk about our plan this weekend.
A: **Are** you **going** somewhere?
B: Yes. We **are going** cycling.

23

INTERACTIONS

4つの文法項目を軸として，コミュニケーションに必要な知識と技能を身につけます。

CHECK 文法の確認問題で，言語活動の準備をします。

TASK 「話す（発表・やりとり）」「書く」の言語活動を通して，思考，判断，表現の力を養います。

A〜D 4つの文法項目と基本例文で学習

項目ごとに設定されたTASKで理解を深める

3 応用としての自己発信

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう
①クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。
Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport［food / color］?
②インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。
_____ went to _____.
He / She _____ to school.
He / She _____ in his / her free time.
His / Her favorite _____.
③グループになって，インタビューしたクラスメイトのことをほかの人に紹介しよう。
聞き手はそれぞれの発表について，感想を言ったり質問したりしよう。

WRITE 「朝の習慣」について書こう B
①自分が朝していることを書き出そう。
I **get** up at 6:00. I **get** dressed. I **eat** breakfast.
I **ride** my bike to school. It **takes** fifteen minutes.
②接続詞（**and, but, when**）や副詞（**first, then**）などを使って，時間の流れにそって自分の朝の習慣を文章にしてみよう。
I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed and then **take** my dog for a walk. After that, I **eat** breakfast and **brush** my teeth. Then I **leave** for school at 7:15.

Self-Check ☑
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。□□□
朝の習慣について，時間の流れにそって書くことができた。□□□
□：よくできた。□：まあまあできた。□：あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

自分のことを伝えるときに，I like playing the piano. I read many books.のように事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I like playing the piano. I really love classical music. のように前の文につながるような情報を加えるなど，文と文の関連を意識して，まとまりのある文章にしましょう。

24

ACTIVE LEARNING

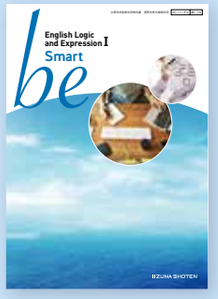
設定されたテーマにそって話す・書くという発信活動を行うことで，論理的に考え，判断し，表現する力を身につけます。

be English Logic and Expression Ⅰ

教科書 be Clear／Smart の比較

Clear

レベル
★★ 標準レベル
文法の確認と定着



Smart

レベル
★★★ 標準～発展レベル
文法の知識を言語活動に応用

各レッスンの違い

ページ	該当部	Clear	Smart
❶ 導入			
Start-Up	Start-Up	●2.5往復の会話　●和訳あり（巻末）	●3往復の会話　●和訳なし
❷ 定着			
INTERACTIONS	[A][B][C][D]の例文と解説	●7基本例文 ●例文の和訳あり（巻末） ●基本的な学習項目をカバー	●8基本例文 ●例文は英文のみ ●基本+発展的な学習項目をカバー
	CHECK TASK	●文法の確認問題CHECK多め	●「やり取り」「書く」「発表」のTASK多め
	VOCABULARY	●語句の和訳あり	●語句の和訳なし ●より多くの語句を紹介
❸ 発展			
ACTIVE LEARNING	SHARE	●スモール・ステップを踏みながら「発表」「やり取り」の活動につなげる	●例文を示し，グループでの「発表」「やり取り」につなげる ●セルフチェックあり
	WRITE	●スモール・ステップで書く練習 ●手紙・日記などさまざまな状況での「書く」活動	●空所補充問題で作文例を示す ●まとまった英文を「書く」活動につなげる

be English Logic and Expression Ⅰ　著作者

■ 平賀　正子
立教大学名誉教授

■ 鈴木　希明
中京大学特任講師

■ 前中　猛
白陵中学校・高等学校教諭

■ 伊藤　清
名古屋中学校・高等学校教諭

■ 谷口　幸夫
西武学園文理中学・高等学校教諭

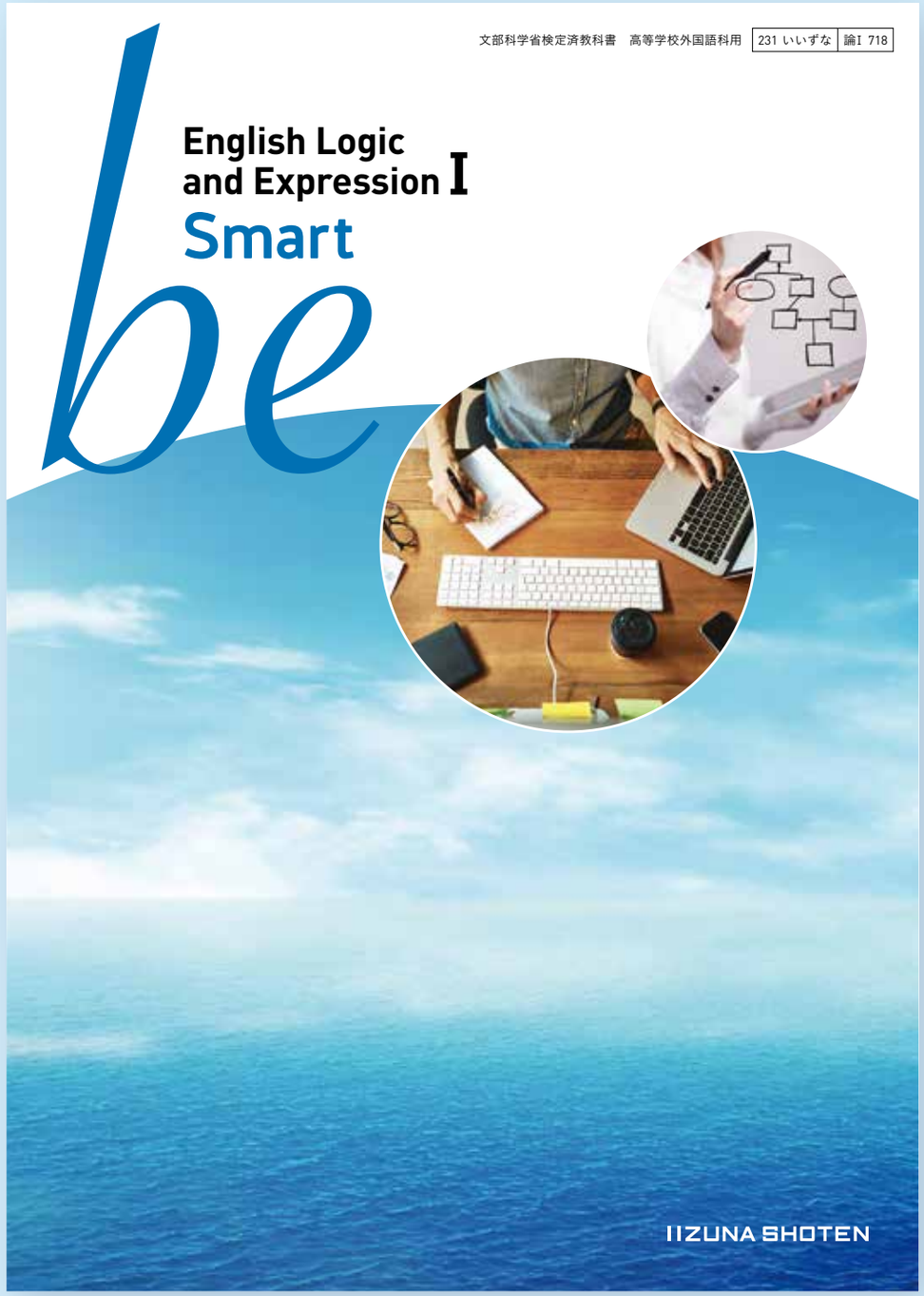
■ 田中　孝典
静岡県立焼津中央高等学校教諭

■ 川又　克己
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭

■ 萱原　雅弘
元東京家政学院大学教授

Smart　内容の紹介

文法の理解を深めながら，言語活動を通して
論理的に表現する力を養成する。



Contents

Introduction 「やり取り」「発表」「書く」のためのウォーミングアップ

Step 1：自分のことを表そう！ ····· p.7
［英語の語順］ 1. 主語＋動詞 2. 主語＋動詞＋補語 3. 主語＋動詞＋目的語 4. 主語＋動詞＋目的語＋目的語 5. 主語＋動詞＋目的語＋補語
名詞の使い方／形容詞と副詞の使い方／動詞の使い方

Step 2：情報を聞き出そう！ ····· p.15
［英語の文の種類］ 1. 平叙文 2. 疑問文

Step 3：文章にまとめて発表しよう！ ····· p.18
［英語の文のつなぎ方］ 1. 文と文をつなぐ接続詞 2. 文を文に組み込む・加える接続詞

文法を軸としたレッスン構成

1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す　Point｜動詞の形・時制

LESSON 1 Meeting People 自分のことを話す pp.21-24
Start-Up Conversation
FORMS 現在のことは現在形で表す
EXPRESSIONS あいづちで関心を示す
SOUNDS /l/と/r/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you
A 現在の状態を表す 現在形：状態動詞
B いつもすることを表す 現在形：動作動詞
C している最中のことを表す 現在進行形
D これからの予定を表す 現在進行形・現在形：予定
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Introducing Yourself
SHARE 自己紹介をしよう
WRITE いつもの行動を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 2 Holidays and Weekends 休日・週末にしたことを話す pp.25-28
Start-Up Conversation
FORMS 過去のことは過去形で表す
EXPRESSIONS 相手の発言を聞き直す
SOUNDS /t/と/d/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about holidays and vacations
A 過去の状態や出来事を表す 過去形
B している最中だったことを表す 過去進行形
C いつのことなのかを接続詞を使って表す 過去形・過去進行形
D 昔よくしていたこと・今とは違う過去の状態を表す used to
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Happy Memories
SHARE 楽しかった思い出について話そう
WRITE ある日の出来事について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 3 Making Plans 予定について話す pp.29-32
Start-Up Conversation
FORMS 未来のことをwillやbe going toで表す
EXPRESSIONS 情報をたずねる
SOUNDS ea の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about plans and predictions
A しようと思うこと・そうなると思うことを表す will
B するつもりでいること・そうなりそうなことを表す be going to
C しているであろうこと・することになっていることを表す will be＋ing形
D 「～したら」「～なら」を接続詞を使って表す whenやifのあとの現在形
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Making Plans
SHARE 休日の計画を話そう
WRITE 休日の計画を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 4 Travel 旅行について話す pp.33-36
Start-Up Conversation
FORMS 今とつながりがあることを現在完了形で表す
EXPRESSIONS 話を切り出す
SOUNDS /f/と/v/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about travels and experiences
A 完了していること・その結果としての状況を表す 現在完了形：完了・結果
B 今までの経験を表す 現在完了形：経験
C 継続している状態・継続している動作を表す 現在完了形・現在完了進行形：継続
D 現在の状況を表す・過去のことであることを示す 現在完了形・過去形
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Travel
SHARE 旅に関する経験を話そう
WRITE 旅先からメール・はがきを書こう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❶ 移動する ····· p.37
Communication TIPS① 言外の意味 ····· p.38

LESSON 5 Study and Activities 学習・課外活動について話す pp.39-42
Start-Up Conversation
FORMS 過去のある時点までのことを過去完了形で表す
EXPRESSIONS 相手に同意を求める
SOUNDS 語尾の ed の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about learning and school activities
A 完了していたこと・経験していたことを話す 過去完了形：完了・経験
B 継続していたことを表す 過去完了形・過去完了進行形：継続
C 過去のある時点より前のことを表す 過去完了形：大過去
D 未来のある時点までのことを表す will have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Study and Activities
SHARE 「何かができなかった」理由を話そう
WRITE 学習や課外活動について書こう
LOGICAL THINKING

1st Zone REVIEW 時と状況の表し方（動詞の形） ····· p.43

2nd Zone 日々の生活のことを話す　Point｜助動詞・受動態

LESSON 6 Food 食べ物について話す pp.45-48
Start-Up Conversation
FORMS できることを can を使って表す
EXPRESSIONS お礼を言う
SOUNDS つながる音
TALK
INTERACTIONS Talking about food
A できること・できないことを表す can / be able to
B 可能性があること・ないことを表す can / can't
C 「そうかもしれない」という推量や「してもよい」という許可を表す may / might
D 過去のことについての推量を表す may［might］have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Food
SHARE 好きな食べ物について話そう
WRITE 好きな［苦手な］食べ物について書こう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❷ 食事をする ····· p.49
KEEP TALKING Scene ❸ 買い物をする ····· p.50

LESSON 7 School Life 学校生活について話す pp.51-54
Start-Up Conversation
FORMS しなければならないこと・すべきことを表す
EXPRESSIONS 理由をたずねる
SOUNDS 消える音
TALK
INTERACTIONS Talking about school life
A しなければならないことを表す must / have to
B すべきことを表す should / had better
C 確信していることや推測を表す must / should
D 過去のことについての後悔や確信を表す should / must have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
School Rules
SHARE 学校の規則について話そう
WRITE 何か目的のために「必要なこと・すべきこと」を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 8 Daily Life 日常生活について話す pp.55-58
Start-Up Conversation
FORMS would を使って依頼をする
EXPRESSIONS 依頼を受け入れる・断る
SOUNDS th の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about everyday life
A 意志があることを表す will / would
B 過去によくしたことを表す would often
C そうだろうと思っていることを表す will / would
D 依頼や提案内容を表す will / can / shall
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Home
SHARE 家事の依頼をしよう
WRITE 家事の依頼を書こう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❹ 道をたずねる ····· p.59
KEEP TALKING Scene ❺ 電話で話す ····· p.60

LESSON 9 Transportation Issues 交通機関の問題について話す pp.61-64
Start-Up Conversation
FORMS 「される」「された」を受動態で表す
EXPRESSIONS 話しかける
SOUNDS /ɔ:/と/ou/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about transportation and buildings
A 何かをされた・されることを表す 受動態の基本形
B 何が・いつ・どこでされたのかをたずねる 受動態の疑問文
C 受動態で進行中の意味や完了形の意味を表す 進行形・完了形の受動態
D 感情を受動態で表す 感情を表す受動態
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Transportation Issues
SHARE 通学路・交通施設における問題を話そう
WRITE 交通における問題を減らす方法を考えよう
LOGICAL THINKING

2nd Zone REVIEW 助動詞の意味と受動態の使い方 ····· p.65
スピーチをしてみよう！ ····· p.66

3rd Zone したいことやしていることを話す　Point｜不定詞・動名詞・分詞

LESSON 10 The Future 将来したいことについて話す pp.69-72
Start-Up Conversation
FORMS 「～すること」を不定詞で表す
EXPRESSIONS 励ます
SOUNDS /m/と/n/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about the future
A 「～すること」を主語や補語として表す 不定詞の名詞用法：主語・補語
B 「～すること」を目的語として表す 不定詞の名詞用法：目的語
C 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」のような意味を表す 疑問詞＋不定詞
D だれがするのかを示す・「～しないこと」を表す 不定詞の意味上の主語と否定語
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
The Future
SHARE 夢や目標について話そう
WRITE 夢や目標の実現に必要と思うことを書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 11 Staying Healthy 健康について話す pp.73-76
Start-Up Conversation
FORMS 情報を加えるために不定詞を使う
EXPRESSIONS 具合をたずねる
SOUNDS /ər/と/ə:r/の発音
TALK
INTERACTIONS Talking about health and exercise
A 「～すべき」「～するための」という説明を名詞に加える 不定詞の形容詞用法
B 「～するために」という目的を表す 不定詞の副詞用法：目的
C 「～したことで」という原因や根拠を表す 不定詞の副詞用法：原因・根拠
D 形容詞に不定詞を続ける 形容詞＋不定詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Staying Healthy
SHARE 健康維持に必要と思うことを話そう
WRITE 健康について感じていることを書こう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❻ 病院に行く ····· p.77
Communication TIPS② ノンバーバル・コミュニケーション ····· p.78

be Smart 教科書

LESSON 12 New Products 新しい製品について話す pp.79-82

Start-Up Conversation
FORMS 「人に～することを…」を不定詞で表す
EXPRESSIONS 勧誘する
SOUNDS o の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about technology
A 「人に～してほしい・することを許す」を表す SVO+不定詞
B 「人に～してもらう・させる」を表す 使役動詞+名詞+動詞の原形
C 「人・何かが～するのを見る」を表す 知覚動詞+名詞+動詞の原形
D 不定詞を進行形・受動態・完了形で使う 不定詞の進行形・受動態・完了形
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
New Products
SHARE 便利な電化製品を紹介しよう
WRITE 最近の製品について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 13 Hobbies and Interests 趣味・関心について話す pp.83-86

Start-Up Conversation
FORMS 「～すること」を動名詞で表す
EXPRESSIONS 同じだと言う
SOUNDS /ŋ/ と /ŋg/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about hobbies and interests
A 「～すること」を主語や補語として表す 動名詞：主語・補語
B 「～すること」を目的語として表す 動名詞：目的語
C だれがするのかを示す・「～しないこと」を表す 動名詞の意味上の主語と否定語
D 動名詞を受動態・完了形で使う 動名詞の受動態・完了形
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Sharing Interests
SHARE 趣味・興味について話そう
WRITE 積極的に取り組んでいることを書こう
LOGICAL THINKING

EXTENSION 趣味や興味を将来の夢につなげよう！ p.87
Communication TIPS③ 相手に応じたことばづかい p.88

LESSON 14 The World of Nature 自然について話す pp.89-92

Start-Up Conversation
FORMS 「～する」「～された」という状況を分詞で説明する
EXPRESSIONS 感情を表す
SOUNDS /s/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about the natural world
A 「～する」「～された」という説明を名詞に加える 分詞の限定用法
B 分詞形の形容詞を使って感情や状態を表す 分詞形容詞
C keep や remain に分詞を続けて「～のまま」を表す 分詞の叙述用法
D 分詞を使って状況を表す 分詞を使う表現
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
The World of Nature
SHARE 自然・動植物について話そう
WRITE 自然・生態系が直面している問題を考えよう
LOGICAL THINKING

LESSON 15 Trouble and Accidents トラブル・事故について話す pp.93-96

Start-Up Conversation
FORMS 「何かを～してもらう」を分詞を使って表す
EXPRESSIONS 同情・共感を表す
SOUNDS /ʌ/と/ə/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about problems, accidents, and incidents
A 「人・何かを～させる・される」を表す SVO+分詞
B 「人・何かが～している・されるのを見る」を表す 知覚動詞+名詞+分詞
C 分詞を使って情報を加える 分詞構文
D その時点での状況を with を使って表す with+名詞+分詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Trouble and Accidents
SHARE 困った出来事を報告しよう
WRITE 事故や困った出来事などを報告しよう
LOGICAL THINKING

3rd Zone REVIEW 準動詞（不定詞・動名詞・分詞）のはたらき p.97
パラグラフを書いてみよう! p.98

4th Zone 説明する・自分の考えを話す Point | 関係詞・比較表現

LESSON 16 Technology and Invention 技術・発明について考える pp.101-104

Start-Up Conversation
FORMS 関係代名詞を使って名詞に説明を続ける
EXPRESSIONS 感想をたずねる
SOUNDS /æ/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about inventions and breakthroughs
A それが何をするのか説明を続ける 関係代名詞：主格
B 人・何かがそれをどうするのか説明を続ける 関係代名詞：目的格
C それの何がどうするのか説明を続ける 関係代名詞：所有格
D 関係代名詞を前置詞の目的語として使う 前置詞と関係代名詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Technology and Invention
SHARE 発明品について話そう
WRITE 技術や発明について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 17 Achievements 達成したことを話す pp.105-108

Start-Up Conversation
FORMS 関係代名詞を使って情報を加える
EXPRESSIONS お祝いを言う
SOUNDS 語尾のs の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about achievements
A 名詞に情報を加える 関係代名詞：非限定用法
B 述べた内容に情報を加える which：節や句が先行詞
C 情報を加える範囲を示す some of which / both of whom
D 関係代名詞 what を使って「～すること」を表す 関係代名詞：what
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Achievements
SHARE 偉人の功績を紹介しよう
WRITE 達成したことについて書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 18 Cities and Towns 都市・町について話す pp.109-112

Start-Up Conversation
FORMS 関係副詞を使って名詞に説明を続ける
EXPRESSIONS 感情を伝える
SOUNDS /ʊ/と/uː/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about communities
A 場所や時について説明する 関係副詞：限定用法
B 場所や時について情報を加える 関係副詞：非限定用法
C 「～する理由」「～する方法」を表す 関係副詞：why / how
D 「だれでも・何でも・どこでも」を表す 複合関係詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Cities and Towns
SHARE 修学旅行のプレゼンテーションをしよう
WRITE 偉人ゆかりの都市を紹介しよう
LOGICAL THINKING

for ACTIVE LEARNING 世界の都市とゆかりの人物 p.113
論理的に考えてみよう! p.114
ディベートをしてみよう! p.116
Communication TIPS④ 話の展開のしかた p.118

LESSON 19 Living Environment 生活環境について話す pp.119-122

Start-Up Conversation
FORMS 形容詞や副詞を使って比較する
EXPRESSIONS 存在を伝える
SOUNDS /k/と/g/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about living environment
A 比べる相手と同じくらいであることを表す 原級を使う比較
B 比べる相手との差を倍数や分数で表す 倍数や分数を使う比較
C 比べる相手と差があることを表す 比較級を使う比較
D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す 比較対象の示し方
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Living Environment
SHARE さまざまな生活環境を比べよう
WRITE 海外の都市と身近な都市を比べよう
LOGICAL THINKING

LESSON 20 Social Problems 社会問題について話す pp.123-126

Start-Up Conversation
FORMS 形容詞や副詞の最上級を使って「最も～」を表す
EXPRESSIONS 提案する
SOUNDS 冠詞の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about issues
A ほかのどれよりも上回っていることを表す 最上級を使う比較
B 「最も～なひとつ」「2 番目に～な」を表す 最上級を使う表現
C 「ほかのどれも～ない」で最上級の意味を表す 原級・比較級の表現
D 「できるだけ～」「～すればするほど」を表す 比較の表現
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Social Problems
SHARE 社会問題について話そう
WRITE 日本の直面している問題について書こう
LOGICAL THINKING

4th Zone REVIEW 関係詞の使い方と比較の文のつくり方 p.127
プレゼンテーションをしてみよう! p.128

5th Zone これからの自分や社会のことを話す Point | 仮定法・接続詞

LESSON 21 Making a Wish 願い事について話す pp.131-134

Start-Up Conversation
FORMS 動詞の過去形を使って仮定の話をする
EXPRESSIONS したいことを言う
SOUNDS /ɪ/と/iː/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about wishes and imagined situations
A 現実とは違うことや実現しそうにないことを表す 仮定法過去
B 過去の事実とは違うことを表す 仮定法過去完了
C wish や If only を使って願望を表す I wish / If only
D 「まるで～のように」「～してもいいころだ」を表す as if / It's time
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Making a Wish
SHARE 就きたい職業について話そう
WRITE 願望について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 22 Cross-cultural Communication 異文化を理解する pp.135-138

Start-Up Conversation
FORMS 接続詞を使って文をつなぐ
EXPRESSIONS 助言を求める
SOUNDS /ʃ/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about globalization and other cultures
A 「…ということ」「…かどうか」を接続詞を使って表す that / whether
B 時・理由・条件を接続詞を使って表す when / because / if
C 「…だけれど」を接続詞を使って表す although / though
D 論理的なつながりを副詞を使って表す 接続副詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Globalization
SHARE グローバル化について意見交換しよう
WRITE 異文化理解について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 23 Giving Opinions 意見を述べる pp.139-142

Start-Up Conversation
FORMS that 節を使って主張や伝聞内容を示す
EXPRESSIONS 意見を言う・相手の意見に反応する
SOUNDS /p/と/b/ の発音
TALK

INTERACTIONS Talking about what you think and hear
A 重要なことや要求・提案内容を表す that 節で使う原形
B 「とても～なので…」「…するように」を表す so ～ that / so that
C 「…と言われている」を表す It is said that
D 確実性や可能性を表す It is certain that
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Giving Opinions
SHARE 問題について意見を述べよう
WRITE 地球で起きている問題を書こう
LOGICAL THINKING

5th Zone REVIEW 文をつないで意味を表す（接続のしかた） p.143
ディスカッションをしてみよう! p.144
付録：群動詞（句動詞） p.146
発音記号と発音のしかた p.148
Functional Index（機能別さくいん） p.150
Lexical Index（語い別さくいん） p.151

QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることでモデル会話や発音，例文などの音声を聞いたり，発音の動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため，通信事業会社に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は，Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。

be Smart 教科書

1st Zone

自分のことや身近な人のことを話す

1st Zoneでは，自分のことや身近な人のことを話すことができるようにします。自分や家族のことを紹介したり，週末や休日にしたこと，今後の予定，旅行の思い出，そして学習や課外活動について話したりします。

ペアやグループで会話をするときは，相手の話をよく聞いて，それに反応したり問いかけたりすることで会話が続くようにしましょう。文章を書いたり発表したりするときは，自分の伝えたいことが伝わるような正しい英語になっているかどうか，相手に伝わるような話し方ができているかどうかも意識しましょう。このZoneでは，いつのことを表すのかに注意して，英語の動詞を正しい形で使えるようにします。

LESSON 1 Meeting People
LESSON 2 Holidays and Weekends
LESSON 3 Making Plans
LESSON 4 Travel
LESSON 5 Study and Activities

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up *Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.*

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday**.
Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, **we sometimes have soccer games**.
Andy: Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.

・hang out with：～と遊ぶ

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えたら，関連する情報を１つ加えましょう。新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ，会話が続きます。

QRコードを読み取ることで、音声を聞いたり，発音の動画を見たりすることができます。

文法の解説

FORMS 現在のことは現在形で表す

住んでいる所や持っているもの，入っている部活のような**現在の状態**や，日々の暮らしの中で**いつもすること**を表すときは，**動詞の現在形**を使います。

動詞の現在形が表すのは「今」という一時点だけでなく，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。したがって，playのような**動きを表す動詞の現在形**は，**繰り返しするようなこと**を表します。I **play** soccer.だけで，「いつもサッカーをする」ことを表すことができるのです。

会話中の機能表現

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

あいづちを打つことで，相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!**は，下がり口調なら「そうなんだ!」，**Really?**と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see.やI understand. いい話だと思えば That's nice. よくない話なら That's too bad. のような表現を使います。

QRコードで動画再生

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上の歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

like, live, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し，AndyとKentaになりきって会話をしてみよう！

会話中の英語らしい表現

Pick-Up 入っている部活動は，**I'm in the soccer club.** のように言えば簡単です。I belong to .... (私は…に所属している) だと少しかたい表現になります。運動部なら，I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

早口ことば(tongue twister)

TT Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

A 現在の状態を表す

現在形：状態動詞

学習する文法項目が素早く確認できます。

① I **like** cats very much.
② My uncle **has** two cars.

F-GUIDE　文法（FORMS）の解説

①好きなものや思っていることなど，**現在の心理的な状態**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。
②持っているものや住んでいる所のような**現在の状態**を表すときも，動詞の**現在形**を使う。

TASK 与えられた動詞を使って，自分や身近な人に関する３つの文を書いてみよう（同じ動詞を２度使わないこと）。それぞれの文には，情報を1つずつ加えよう。

[believe / know / like / love / remember / need / want / have / live / resemble]

例 I love rock music. I'm in a band.
My brother doesn't like vegetables. He especially hates celery.

TASK
言語活動を通して表現力を身につける

自分が書いたことを話してみよう。

タスクの種類がひと目でわかるアイコン表示

やり取り
発表
書く

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

③ I *usually* **get** to school at 8:30.
④ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE

③**繰り返しすること**や**習慣になっていること**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと**頻度**を表すことができる（always > usually > often > sometimes > rarely > never）。
④**職業**や**習性**，**話す言語**などを表すときも，動詞の**現在形**を使う。

TASK 自分や身近な人がいつもすることについて会話をしてみよう。

例 **A:** What do you do in your free time?
B: I usually read books. I like Murakami Haruki.
A: Really? I like Murakami, too.
B: Wow! That's great!

E-GUIDE　機能表現（EXPRESSIONS）を活用

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
・I see.　・I think so, too.　・I can't believe it!　・Really?　・No way!
・That's nice[good / great / wonderful / fantastic].　・That's too bad.　・Is that true?　・Yes, indeed.
・You're kidding!　・Are you serious?

VOCABULARY

レッスンのテーマについて発信するのに役立つ語彙・フレーズを紹介

・wake up	・walk one's dog	・water the plants	・go to the library	・have dinner	・take a bath
・wash one's face	・have breakfast	・leave for school	・go to cram school	・watch a video	・come from
・take a shower	・have[drink] coffee	・talk with friends	・do club activities	・play the guitar	・be a graduate of
・brush one's teeth	・get dressed	・use a computer	・do one's homework	・play video games	・be good at

TASK ある人の職業の説明を聞いて，その職業が何かを英語で答えよう。聞いた説明を書きとってみよう。

C している最中のことを表す

現在進行形

⑤ I'**m writing** an essay for my English class.
⑥ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE

⑤**している最中のこと**を表すときは，**現在進行形**（am/are/is＋動詞のing形）を使う。
⑥**変化している最中のこと**や**一時的な状態**を表すときも，**現在進行形**を使う。

TASK 写真に写っている人を指差しながら，その人（たち）がしていることを英語で表そう。

D これからの予定を表す

現在進行形・現在形：予定

⑦ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.
⑧ My brother **graduates** from college *this month*.

F-GUIDE

⑦これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに，**現在進行形**を使うことができる。
⑧**現在形**を使って，**確定している予定**を表すこともある。

TASK 放課後，または週末の予定について会話をしてみよう。

例 **A:** What are you doing after class today[this weekend]?
B: I'm going to a concert with my sister. I'm really looking forward to it.

TASK 確定している予定を書いてみよう。

例 The midterm exams start on May 20.

達成評価（セルフチェックリスト）

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□ A 現在の状態を表すことができる。
□ B いつもすることを表すことができる。
□ C している最中のことを表すことができる。
□ D これからの予定を現在（進行）形で表すことができる。

「自己紹介」「いつもの行動」など，
レッスンごとのテーマで自己発信をします。

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

グループで共有する言語活動

①自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I'm a graduate of Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

②上の例を参考に，自己紹介の文を考えて，メモにまとめよう。

自分の好きなことや性格，これからの目標などを入れてみよう。

③グループになって，順番に自己紹介をしよう。

・Hello, everyone! で始め，最後に Thank you for listening. Do you have any questions? とたずねよう。
・聞き手は発表者に質問を 1 つしよう。
⇒質問を考えながら聞くことで，相手の話をよりアクティブに聞くことになります。
例 How long have you played soccer? / Do you like any other sports?

SHAREについての自己評価

Self-Check ☑
自分のことについて伝えることができた。3 2 1
聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

テーマにそった英文を作成

WRITE いつもの行動を書こう

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで，[　] から適語を選び，空所を埋めよう。

I（　　）up at seven in the morning. After I wash my face and get dressed, I always（　　）a traditional Japanese breakfast with my family. I（　　）home at eight and get to school by eight-thirty.

[have / leave / get]

②自分の毎朝の行動（morning routine）や帰宅後の行動（evening routine）を40語程度で書いてみよう。

接続詞 and を使って，時間の流れにそって行動を説明しよう。

WRITEについての自己評価

Self-Check ☑
いつもの行動について，40語程度で表現することができた。3 2 1
時間の流れにそって，自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

LOGICAL THINKING　発信するための論理的な考え方

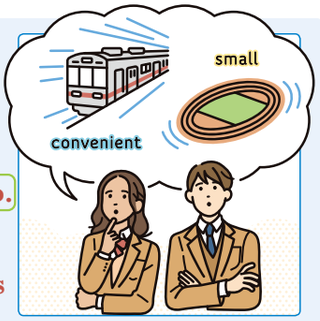
「朝の行動」や「帰宅後の行動」など，いつもの行動を伝えるときは，時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは，接続詞 and を使って文をつなぐと不要な繰り返しが省けます。I wash my face and get dressed. では and のあとに I を入れる必要はありません。

LESSON 19

Living Environment

生活環境について話す

Start-Up *Sally and Hiroki are talking about the good points and the bad points of Tokyo.*



Hiroki: Sally, how do you like living in Tokyo?
Sally: It's definitely easy to get around in Tokyo. In my hometown **there aren't any trains or subways.**
Hiroki: **Most big cities are not as convenient as Tokyo.** And the bad points?
Sally: Well, there's not much space. **The school grounds and sports fields are much bigger in the U.S.**
Hiroki: I guess every place has its good points and bad points, right?
Sally: There's no question about that. But now I'm having a great time here.

Tips for Better Communication　文末に **right?** を加えて，「ですよね？」「そうでしょ？」と，自分の発言が正しいかどうかを相手に確認することができます。カジュアルな場面でよく使われる表現で，相手の発話を促す効果があります。

会話中の色文字と対応

FORMS 形容詞や副詞を使って比較する

何かと何かを比べて「**同じくらいだ**」と言うときは，〈**as＋形容詞・副詞の原級＋as**〉で表します。 **as convenient as** Tokyo は，「東京と同じくらい便利だ」という意味です。**not as** convenient **as** … のように否定文にすると，「…ほど便利でない」のように，比べている相手に及ばないことを表します。

比べる相手と差があって，「**…よりも～だ**」と言いたいときは，〈**形容詞・副詞の比較級＋than**〉を使います。The school grounds **are much bigger** in the U.S. は「アメリカ合衆国では校庭が（東京よりも）かなり広い」という意味です。東京と比べていることは会話の流れから明らかなので，than in Tokyo が省略されています。また，much bigger の much は比較級が表す意味を強調するために使われています。

EXPRESSIONS 存在を伝える

「…がある」という**何かの存在**を伝えたいときに，**There is/are** …. を使います。be 動詞のあとに続く名詞が複数であれば are を使います。There's no question about that. の There's は There is の省略形です。

SOUNDS /k/ と /g/ の発音

/k/（無声音）と /g/（有声音）は，舌の後部と口の奥で呼気の流れを止めてから，一気に開放して発音します。

convenient, clean, key, school, like, luck / get, ground, guess, good, great, big

TALK

会話の内容を確認し，Hiroki と Sally になりきって会話をしてみよう！

Pick-Up　**How do you like living in Tokyo?** は「東京で暮らすのってどう？」という意味です。相手の意見や感想をたずねるときに〈How do you like＋名詞［動名詞］?〉を使います。例 How do you like school?（学校はどう？）

TT How many cookies could a good cook cook, if a good cook could cook cookies?

INTERACTIONS Talking about living environment

A 比べる相手と同じくらいであることを表す

原級を使う比較

① That high-rise apartment building is **as tall as** Nagoya TV Tower.
② This town does**n't** have **as many** *supermarkets* **as** my town.

F-GUIDE

①「**同じくらい〜だ**」という意味を表すときは，〈**as＋形容詞・副詞の原級＋as**〉を使う。比べる相手を示すほうのbe動詞・助動詞などは，意味が明らかであれば省略できる（as Nagoya TV Tower (is)）。
②否定文にすると「比べる相手ほど…ではない」となる。数量を比べる場合は，〈**as many/much＋名詞＋as**〉を使う。

TASK 生活環境に関することで，ほかと比べて「同じくらいだ」「それほどではない」と言えるものについて話そう。

例 My room is as big as my sister's. Since I don't have as many clothes as my sister, my room looks spacious.

CHECK で文法の確認 ＋ TASK 言語活動に活用

B 比べる相手との差を倍数や分数で表す

倍数や分数を使う比較

③ This park is *twice* **as large as** Tokyo Dome.
④ Rents in the suburbs are about *two-thirds* **as high as** in the city center.

F-GUIDE

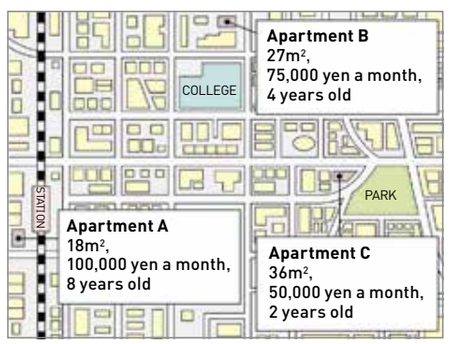
③比べる相手との差を倍数で表すときは，〈**倍数＋as＋原級＋as**〉を使う。
④比べる相手との差を分数で表すときは，〈**分数＋as＋原級＋as**〉を使う。「2分の1」はhalf。

CHECK 与えられた語を使って空所を埋め，英文を完成させよう。

1. This city has (　　) (　　) (　　) people as the city I live in. [twice]
2. We had only (　　) (　　) (　　) snow this year as last year. [one-third]

TASK ある大学生が一人暮らしをしようと思い，アパートの候補を次の3つに絞りました。ペアになってそれぞれの物件を比較し，自分ならどこに住むか話し合ってみよう。

例 The rent of Apartment A is twice as expensive as Apartment C, and the space is two thirds as big as Apartment B. However, my top priority in choosing a place to live is its location. So, I will choose Apartment A.



C 比べる相手と差があることを表す

比較級を使う比較

⑤ The countryside is **quieter than** the city.
⑥ Our new house is *much* **more spacious than** our old one.

F-GUIDE

⑤**差がある**ことを表すときは，〈**形容詞・副詞の比較級＋than**〉を使う。数量に差がある場合は〈**more＋名詞＋than**〉とする。
⑥差が大きいことは**much / far / a lot**を，差が小さいことは**a little / a bit**を比較級の前に入れて表す。

CHECK 音声を聞いて英文を完成させよう。

1. _____ this morning. I left my house _____, but I couldn't make it to work on time.
2. _____ near the station. It has _____ in the next town.

E-GUIDE

何かの存在を相手に伝えるときはThere is/are ....を使う。
・There are a lot of people gathering in the park. ◀伝えるものが複数ならbe動詞はareとなる。
・There used to be a movie theater here.
「〜がある」と言うときにhaveを使って表すこともある。→We have four classes today.

TASK 大都市と小さな町を比べたうえで，どちらに住みたいかペアで話してみよう。

例 **A:** The cost of living is much higher in cities than in small towns.
B: That's because rent is higher in urban areas, right?
A: Yes. And there are so many people living in big cities, which I don't like.

D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す

比較対象の示し方

⑦ My hometown does not have **as many** *schools* **as** *it used to.*
⑧ The population of Kobe is *a bit* **larger than** *that* of Kyoto City.

F-GUIDE

⑦主語の以前の状況や本来の状況，思っていた程度などと比べることができる。
⑧比べる相手を示す名詞の重複を避けるときはthat/thoseを使う。

CHECK 与えられた語句を使って空所を埋め，英文を完成させよう。

1. Living in this area is not as expensive _____. [think]
2. This house is much larger _____. [look]
3. The climate here is milder _____. [my hometown]

⇒ ACTIVE LEARNING の SHARE の活動（p.122）で，C とD の表現を活用しよう。

次ページでの活動と文法項目の関連も明示

VOCABULARY

- comfortable
- lively
- quiet
- relaxing
- stressful
- humid
- the climate
- the atmosphere
- surroundings
- the population
- fresh air
- noise pollution
- medical costs
- child raising
- prices
- rents
- utility costs
- barrier-free
- a nursing home
- a neighborhood
- a residential area
- a condominium
- an apartment
- a suburb

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□ A 比べる相手と同じくらいであることを表すことができる。
□ B 比べる相手との差を倍数や分数で表すことができる。
□ C 比べる相手と差があることを表すことができる。
□ D どの状況や何と比べているかを示すことができる。

ACTIVE LEARNING

Living Environment

前ページまでに学んだ文法項目との対応が分かる

SHARE さまざまな生活環境を比べよう C D

①都会での生活について述べた次の文を読もう。

I prefer to live in the city rather than the country because the city is more exciting. There are lots of shops and restaurants in the city and everything is very convenient, especially transportation. Although the city is much noisier than the country, I think the city is the best place to live.

②都会と地方，戸建てと集合住宅など，さまざまな生活環境があります。「老後に暮らすなら地方か，都会か［戸建てか，集合住宅か］」というテーマについて，グループで話し合おう。

・都会派と地方派に分かれて，それぞれよいと思う点を 2 つ挙げて，その根拠も書き出そう。
・都会派と地方派で，交互に意見を述べよう。

Self-Check ☑
自分の意見とその根拠をはっきり伝えることができた。3 2 1
相手の意見を聞いて理解することができた。3 2 1

WRITE 海外の都市と身近な都市を比べよう

①海外の都市と身近な都市を比較した文を読んで，［　］から適語を選び，空所を埋めよう（必要があれば形を変えること）。

I think Vancouver is a (　　) city than Tokyo because it's less noisy and less crowded. The population density of Vancouver is about one-third as (　　) as that of Tokyo, so I think life is (　　) in Vancouver than in Tokyo. However, I don't know if Vancouver is as (　　) as Tokyo.

［ high / relaxing / convenient / easy ］

②海外の好きな町を選んで，あなたの住んでいる町や知っている町とどのように違うか調べてみよう。そして 2 つを比較しながら，その海外の町を紹介する文章を，50語程度で書いてみよう。

比較の観点は，気候，人口，交通，治安，公共サービスなどを参考にしよう。

Self-Check ☑
身近な都市と海外の都市の比較について，50語程度で表現することができた。3 2 1
特定の観点に基づいて 2 つのものを比較できた。3 2 1

LOGICAL THINKING

ある意見に反論するときは，その意見に隠れている「前提」を疑うと効果的な場合があります。たとえば「地方は自然が豊かだから老後は地方に住むべきだ」という主張には，「老後は自然が豊かな場所に住むべきだ」という前提が隠れています。「なぜ老後に自然が豊かな場所に住むのがよいと言えるのか」とたずねることで，論理的に反論することができます。

Clear 内容の紹介

英文法の基本と論理的な思考を学び，
自分のことが表現できる力を養成する。

Contents

Introduction 「やり取り」「発表」「書く」のためのウォーミングアップ

Step 1：自分のことを表そう！ ····· p.7
［英語の語順］ 1. 主語＋動詞 2. 主語＋動詞＋補語 3. 主語＋動詞＋目的語 4. 主語＋動詞＋目的語＋目的語 5. 主語＋動詞＋目的語＋補語
名詞の使い方／形容詞と副詞の使い方／動詞の使い方

Step 2：情報を聞き出そう！ ····· p.15
［英語の文の種類］ 1. 平叙文 2. 疑問文

Step 3：文章にまとめて発表しよう！ ····· p.18
［英語の文のつなぎ方］ 1. 文と文をつなぐ接続詞 2. 文を文に組み込む・加える接続詞

文法を軸としたレッスン構成

1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す　Point｜動詞の形・時制

LESSON 1 Meeting People 自分のことを話す pp.21-24
Start-Up ▶ Conversation
FORMS 現在のことは現在形で表す
EXPRESSIONS あいづちで関心を示す
SOUNDS /l/と/ɹ/ の発音
TALK
INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す
A 現在の状態を表す ― 現在形：状態動詞
B いつもすることを表す ― 現在形：動作動詞
C している最中のことを表す ― 現在進行形
D これからの予定を表す ― 現在進行形：予定
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Introducing Yourself
SHARE クラスメイトのことを紹介しよう
WRITE「朝の習慣」について書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 2 Holidays and Weekends 休日・週末にしたことを話す pp.25-28
Start-Up ▶ Conversation
FORMS 過去のことは過去形で表す
EXPRESSIONS 相手の発言を聞き直す
SOUNDS th の発音
TALK
INTERACTIONS 休日や休暇中のことを話す
A 過去の状態や出来事を表す ― 過去形
B している最中だったことを表す ― 過去進行形
C いつのことなのかを接続詞を使って表す ― 過去形・過去進行形
D 昔よくしていたこと・今とは違う過去の状態を表す ― used to
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Happy Memories
SHARE 楽しかった思い出について話そう
WRITE 日記を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 3 Making Plans 予定について話す pp.29-32
Start-Up ▶ Conversation
FORMS 未来のことを will や be going to で表す
EXPRESSIONS 詳しい情報をたずねる
SOUNDS つながる音と消える音
TALK
INTERACTIONS これからのことを話す
A しようと思うこと・そうなると思うことを表す ― will
B するつもりでいることを表す ― be going to
C しているであろうこと・することになっていることを表す ― will be＋ing形
D「～したら」「～なら」を接続詞を使って表す ― whenやifのあとの現在形
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Making Plans
SHARE 休日の予定を立てよう
WRITE 休日の予定をまとめよう
LOGICAL THINKING

LESSON 4 Travel 旅行について話す pp.33-36
Start-Up ▶ Conversation
FORMS 今とつながりがあることを現在完了形で表す
EXPRESSIONS 話を切り出す
SOUNDS /f/と/v/ の発音
TALK
INTERACTIONS 旅行や移動について話す
A 完了していること・その結果としての状況を表す ― 現在完了形：完了・結果
B 今までの経験を表す ― 現在完了形：経験
C 継続している状態・継続している動作を表す ― 現在完了形・現在完了進行形：継続
D 過去のことであることを示す ― 現在完了形と過去形
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Posting about Travel
SHARE 旅の写真を投稿しよう
WRITE 旅してみたい場所について書こう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❶ 移動する ····· p.37
Communication TIPS① 言外の意味 ····· p.38

LESSON 5 Study and Activities 学習・課外活動について話す pp.39-42
Start-Up ▶ Conversation
FORMS 過去のある時点までのことを過去完了形で表す
EXPRESSIONS 相手に同意を求める
SOUNDS /p/と/b/ の発音
TALK
INTERACTIONS 学習や学校での活動について話す
A 完了していたこと・経験していたことを話す ― 過去完了形：完了・経験
B 継続していたことを表す ― 過去完了形・過去完了進行形：継続
C 過去のある時点より前のことを表す ― 過去完了形：大過去
D 未来のある時点までのことを表す ― will have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
My Achievements
SHARE 達成した事柄について話そう
WRITE 達成した・達成できなかった経験について書こう
LOGICAL THINKING

1st Zone REVIEW 時と状況の表し方（動詞の形） ····· p.43

2nd Zone 日々の生活のことを話す　Point｜助動詞・受動態

LESSON 6 Food Culture 食文化について話す pp.45-48
Start-Up ▶ Conversation
FORMS できることを can を使って表す
EXPRESSIONS お礼を言う
SOUNDS /t/と/d/ の発音
TALK
INTERACTIONS 食べ物や食事について話す
A できること・できないことを表す ― can / be able to
B 可能性があること・ないことを表す ― can / can't
C「そうかもしれない」という推量や「してもよい」という許可を表す ― may / might
D 過去のことについての推量を表す ― may [might] have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Food Culture
SHARE さまざまな国や地域の食習慣について知ろう
WRITE 海外からの旅行客に日本の習慣やマナーを説明しよう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❷ 食事をする ····· p.49
KEEP TALKING Scene ❸ 買い物をする ····· p.50

LESSON 7 School Life 学校生活について話す pp.51-54
Start-Up ▶ Conversation
FORMS しなければならないこと・すべきことを表す
EXPRESSIONS 理由をたずねる
SOUNDS /ʊ/と/uː/ の発音
TALK
INTERACTIONS 学校生活のことを話す
A しなければならないことを表す ― must / have to
B すべきことを表す ― should / had better
C 確信していることや推測を表す ― must / should
D 過去のことについての後悔や確信を表す ― should / must have＋過去分詞
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
School Rules
SHARE 学校の規則について話そう
WRITE 学校の規則についての意見を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 8 Daily Life 日常生活について話す pp.55-58
Start-Up ▶ Conversation
FORMS would を使って依頼をする
EXPRESSIONS 依頼を受け入れる・断る
SOUNDS /ʃ/ の発音
TALK
INTERACTIONS 日常生活について話す
A 意志があることを表す ― will / would
B 過去によくしたことを表す ― would often
C そうだろうと思っていることを表す ― would
D 依頼や提案内容を表す ― will / can / shall
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Special Events
SHARE 友だちをイベントに誘おう
WRITE イベントを企画しよう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ❹ 道をたずねる ····· p.59
KEEP TALKING Scene ❺ 電話で話す ····· p.60

LESSON 9 Transportation Issues 交通機関の問題について話す pp.61-64
Start-Up ▶ Conversation
FORMS「される」「された」を受動態で表す
EXPRESSIONS 話しかける
SOUNDS 語尾の ed の発音
TALK
INTERACTIONS 交通や建造物のことを話す
A 何かをされた・されることを表す ― 受動態の基本形
B 何が・いつ・どこでされたのかをたずねる ― 受動態の疑問文
C 受動態で進行中の意味や完了形の意味を表す ― 進行形・完了形の受動態
D 感情を受動態で表す ― 感情を表す受動態
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Road Safety
SHARE 交通上の安全について考えよう
WRITE 安全向上のために「市長への手紙」を書こう
LOGICAL THINKING

2nd Zone REVIEW 助動詞の意味と受動態の使い方 ····· p.65
スピーチをしてみよう！ ····· p.66

3rd Zone したいことやしていることを話す　Point｜不定詞・動名詞・分詞

LESSON 10 Future Activities 将来したい活動について話す pp.69-72
Start-Up ▶ Conversation
FORMS「～すること」を不定詞で表す
EXPRESSIONS 励ます
SOUNDS /ŋ/ と /ŋg/ の発音
TALK
INTERACTIONS 将来のことを話す
A「～すること」を主語や補語として表す ― 不定詞の名詞用法：主語・補語
B「～すること」を目的語として表す ― 不定詞の名詞用法：目的語
C 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」のような意味を表す ― 疑問詞＋不定詞
D だれがするのかを示す・「～しないこと」を表す ― 不定詞の意味上の主語と否定語
VOCABULARY
ACTIVE LEARNING
Future Activities
SHARE 将来してみたい活動について話そう
WRITE「ボランティア募集」の告知文を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 11 Staying Healthy 健康について話す pp.73-76

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 情報を加えるために不定詞を使う
EXPRESSIONS 具合をたずねる
SOUNDS /ɪ/と/iː/の発音
TALK

INTERACTIONS 健康や運動について話す
A 「～すべき」「～するための」という説明を名詞に加える 不定詞の形容詞用法
B 「～するために」という目的を表す 不定詞の副詞用法：目的
C 「～したことで」という原因や根拠を表す 不定詞の副詞用法：原因・根拠
D 形容詞に不定詞を続ける 形容詞＋不定詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Staying Healthy
SHARE 具合の悪くなった友だちにアドバイスをしよう
WRITE 予防キャンペーンの呼びかけをしよう
LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene 6 病院に行く …… p.77
Communication TIPS② ノンバーバル・コミュニケーション …… p.78

LESSON 12 New Products 新しい製品について話す pp.79-82

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 「人に～することを…」を不定詞で表す
EXPRESSIONS 勧誘する
SOUNDS /m/と/n/の発音
TALK

INTERACTIONS 電化製品について話す
A 「人に～してほしい・することを許す」を表す SVO＋不定詞
B 「人に～してもらう・させる」を表す 使役動詞＋名詞＋動詞の原形
C 「人・何かが～するのを見る」を表す 知覚動詞＋名詞＋動詞の原形
D 不定詞を進行形・受動態・完了形で使う 不定詞の進行形・受動態・完了形
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
New Products
SHARE 便利な電化製品を紹介しよう
WRITE 広告文を書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 13 Hobbies and Interests 趣味・関心について話す pp.83-86

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 「～すること」を動名詞で表す
EXPRESSIONS 同じだと言う
SOUNDS /k/と/g/の発音
TALK

INTERACTIONS 趣味や興味をもっていることについて話す
A 「～すること」を主語や補語として表す 動名詞：主語・補語
B 「～すること」を目的語として表す 動名詞：目的語
C だれがするのかを示す・「～しないこと」を表す 動名詞の意味上の主語と否定語
D 動名詞を受動態・完了形で使う 動名詞の受動態・完了形
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Sharing Interests
SHARE 趣味や興味について話そう
WRITE Show & Tell をしよう
LOGICAL THINKING

EXTENSION 趣味や興味を将来の夢につなげよう！ …… p.87
Communication TIPS③ 相手に応じたことばづかい …… p.88

LESSON 14 The World of Nature 自然について話す pp.89-92

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 「～する」「～された」という状況を分詞で説明する
EXPRESSIONS 感情を表す
SOUNDS /ʌ/と/ə/の発音
TALK

INTERACTIONS 自然や動植物のことを話す
A 「～する」「～された」という説明を名詞に加える 分詞の限定用法
B 分詞形の形容詞を使って感情や状態を表す 分詞形容詞
C keep や remain に分詞を続けて「～のまま」を表す 分詞の叙述用法
D 分詞を使って状況を表す 分詞を使う表現
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
The World of Nature
SHARE 旅行先のレビューを投稿しよう
WRITE 自然を楽しめる場所についてのレビューを書こう
LOGICAL THINKING

LESSON 15 Trouble and Accidents トラブル・事故について話す pp.93-96

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 「何かを～される」を分詞を使って表す
EXPRESSIONS 同情・共感を表す
SOUNDS /ər/と/əːr/の発音
TALK

INTERACTIONS 事件や事故，困ったことについて話す
A 「人・何かを～させる・される」を表す SVO＋分詞
B 「人・何かが～している・されるのを見る」を表す 知覚動詞＋名詞＋分詞
C 分詞を使って情報を加える 分詞構文
D その時点での状況を with を使って表す with＋名詞＋分詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Reporting News
SHARE ニュースの書き方に親しもう
WRITE 出来事を伝える文を書こう
LOGICAL THINKING

3rd Zone REVIEW 準動詞（不定詞・動名詞・分詞）のはたらき …… p.97
パラグラフを書いてみよう! …… p.98

4th Zone 説明する・自分の考えを話す Point｜関係詞・比較・仮定法

LESSON 16 Inventions 発明について話す pp.101-104

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 関係代名詞を使って名詞に説明を続ける
EXPRESSIONS 感想をたずねる
SOUNDS /s/の発音
TALK

INTERACTIONS 発明や偉業について話す
A それが何をするのか説明を続ける 関係代名詞：主格
B 人・何かがそれをどうするのか説明を続ける 関係代名詞：目的格
C 関係代名詞を前置詞の目的語として使う 前置詞と関係代名詞
D 関係代名詞 what を使って「～すること」を表す 関係代名詞：what
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Developing Ideas
SHARE 偉人を紹介しよう
WRITE 発明品を考えよう
LOGICAL THINKING

LESSON 17 Cities and Towns 都市・町について話す pp.105-108

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 関係副詞を使って名詞に説明を続ける
EXPRESSIONS 感情を伝える
SOUNDS /ɔ/と/ou/の発音
TALK

INTERACTIONS 都市や町などについて話す
A 場所について説明する 関係副詞：where
B 時について説明する 関係副詞：when
C 「～する理由」「～する方法」を表す 関係副詞：why / how
D 「だれでも・何でも・どこでも」を表す 複合関係詞
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Cities and Towns
SHARE 都市や町を紹介しよう
WRITE 都市や町の魅力を伝えよう
LOGICAL THINKING

EXTENSION 世界の都市と観光名所 …… p.109
EXTENSION 都市や偉人の説明をしよう！ …… p.110
EXTENSION 世界の偉人たち …… p.111
論理的に考えてみよう! …… p.112
ディベートをしてみよう! …… p.114
Communication TIPS④ 話の展開のしかた …… p.116

LESSON 18 Living Environment 生活環境について話す pp.117-120

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 形容詞や副詞を使って比較する
EXPRESSIONS 存在を伝える
SOUNDS /æ/の発音
TALK

INTERACTIONS 生活環境について話す
A 比べる相手と同じくらいであることを表す 原級を使う比較
B 比べる相手との差を倍数や分数で表す 倍数や分数を使う比較
C 比べる相手と差があることを表す 比較級を使う比較
D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す 比較対象の示し方
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Comparing Opinions
SHARE 都会と地方のメリットとデメリットを考えよう
WRITE 意見と理由をまとめよう
LOGICAL THINKING

LESSON 19 Social Problems 社会問題について話す pp.121-124

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 形容詞や副詞の最上級を使って「最も～」を表す
EXPRESSIONS 提案する
SOUNDS 語尾の s の発音
TALK

INTERACTIONS 社会問題や環境問題について話す
A ほかのどれよりも上回っていることを表す 最上級を使う比較
B 「最も～なひとつ」「2番目に～な」を表す 最上級を使う表現
C 「ほかのどれも～ない」で最上級の意味を表す 原級・比較級の表現
D 「できるだけ～」「～すればするほど」を表す 比較の表現
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Making an Analysis
SHARE スマートフォンとのつきあい方を考えよう
WRITE ソーシャルメディアの利用について意見をまとめよう
LOGICAL THINKING

EXTENSION データを分析しよう …… p.125
プレゼンテーションをしてみよう! …… p.126
EXTENSION 社会問題について考えよう …… p.128

LESSON 20 Making a Wish 願い事について話す pp.129-132

Start-Up ▶ Conversation
FORMS 動詞の過去形を使って仮定の話をする
EXPRESSIONS したいことを言う
SOUNDS /ɔː/の発音
TALK

INTERACTIONS 想像や願望について話す
A 現実とは違うことや実現しそうにないことを表す 仮定法過去
B 過去の事実とは違うことを表す 仮定法過去完了
C wish や If only を使って願望を表す I wish / If only
D 「まるで～のように」を表す as if
VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
Making a Wish
SHARE 願望を話そう
WRITE 今年度の反省点と来年度の抱負を書こう
LOGICAL THINKING

4th Zone REVIEW 関係詞の使い方と比較の文と仮定法の文のつくり方 …… p.133
ディスカッションをしてみよう! …… p.134
付録：群動詞（句動詞） …… p.136
Start-Up 会話日本語訳 …… p.138
Interactions 例文・日本語訳 …… p.142
発音記号と発音のしかた …… p.148
Functional Index（機能別さくいん） …… p.150
Lexical Index（語い別さくいん） …… p.151

QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることでモデル会話や発音，例文などの音声を聞いたり，発音の動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため，通信事業会社に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は，Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。

会話を通して，レッスンで学ぶ文法と表現のしかたを学習します。

1st Zone

自分のことや身近な人のことを話す

1st Zoneでは，自分のことや身近な人のことを話すことができるようにします。自分や家族のことを紹介したり，週末や休日にしたこと，今後の予定，旅行の思い出，そして学習や課外活動について話したりします。

ペアやグループで会話をするときは，相手の話をよく聞いて，それに反応したり問いかけたりすることで会話が続くようにしましょう。文章を書いたり発表したりするときは，自分の伝えたいことが伝わるような正しい英語になっているかどうか，相手に伝わるような話し方ができているかどうかも意識しましょう。このZoneでは，いつのことを表すのかに注意して，英語の動詞を正しい形で使えるようにします。

LESSON 1　自分のことを話す
LESSON 2　休日・週末にしたことを話す
LESSON 3　予定について話す
LESSON 4　旅行について話す
LESSON 5　学習・課外活動について話す

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up ▶ 学校の近くで，登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!

Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?

Mike: No. **I live far from here**, so **I usually take the train**. It takes about an hour.

Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I can walk to school. It only takes ten minutes.

Mike: **Oh, really!** You're lucky! I don't like the long train ride.

Tips for Better Communication　相手からの問いかけに答えたら，もう1つ情報を加えましょう。会話にリズムが生まれ，その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

QRコードを読み取ることで、音声を聞いたり，発音の動画を見たりすることができます。

文法の解説

FORMS 現在のことは現在形で表す

現在のことを伝えるときには，**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと，住んでいる所のような**現在の状態**や，**いつもすること**を表すことができます。

I **live** far from here.

I **take** the train.

このような文の動詞の現在形が表すのは，「今」を中心として，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば，今現在だけのことではなく，「いつも徒歩通学なの？」とたずねているのです。

会話中の機能表現

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

Oh, really! のようなあいづちを打つことで，「そうなんだ！」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。Really?なら「そうなの？」というニュアンスです。

例 "I got a new smartphone yesterday." "**Really!** The newest model?"

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上の歯茎にあてて発音し，/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

live, lucky, like, long, play, usually, only, school / really, ride, from, train, friend, free, every
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し，MikeとShotaになりきって会話をしてみよう！

会話中の英語らしい表現

Pick-Up　「(学校には) 電車で来ます」と言うとき，交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも通じますが，**I take the train.** とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike [bicycle]. という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

文法・表現の理解

7つの例文と簡潔な解説で，
文法と表現のしかたを学習します。

INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す

現在形：状態動詞

学習する文法項目が
素早く確認できます。

① I **like** cats very much.
② My uncle **has** two cars.

F-GUIDE　文法（FORMS）の解説

①好きなものや思っていることなど，**現在の心理的な状態**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。
②持っているものや住んでいる所のような**現在の状態**を表すときも，動詞の**現在形**を使う。

CHECK 〉イラストに合うように，与えられた動詞を使って英文を完成させよう（否定文にする場合もある）。

CHECK
文法の
確認と定着

［ resemble / like / live / believe / have / wear ］

I have a little brother and two sisters. My brother still (　　) in ghosts, so he (　　) haunted houses. My sisters are twins and really (　　) each other. They sometimes (　　) the same clothes. My grandfather (　　) in Okinawa. He (　　) a dog and takes it for a walk every morning.

TASK 〉上のCHECKを参考にして，自分の家族を紹介しよう。

TASK
「やり取り」「発表」「書く」の言語活動

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

③ I *usually* **get** to school at 8:30.
④ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE

③**繰り返しすること**や**習慣になっていること**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと**頻度**を表すことができる（always > usually > often > sometimes > rarely > never）。
④**職業**や**習性**，**話す言語**などを表すときも，動詞の**現在形**を使う。

CHECK 〉父親のことについて書いた高校生の文章を完成させよう。

My father (　　) for a car company. He likes cars, but he rarely (　　). He gets up very early in the morning and (　　) home at seven. He (　　) the bus and the train to work. He usually (　　) home before dinner. He works very hard.

⇒ACTIVE LEARNING のWRITEの活動（p.24）で，Bの表現を活用しよう。

タスクの種類が
ひと目でわかるアイコン表示

やり取り
発表
書く

VOCABULARY

- be good at（〜が得意である）
- resemble（〜に似ている）
- be a graduate of（〜の卒業生である）
- come from（〜出身である）
- walk to school（徒歩通学する）
- work for（〜で働く）
- get up at（〜時に起きる）
- brush one's teeth（歯を磨く）
- get dressed（着替える）
- have［eat］breakfast（朝食をとる）
- leave for school（学校に出かける）
- get to school（学校に着く）
- do club activities（部活動をする）
- go to cram school（塾に行く）
- come［get］home（家に帰る）
- a haunted house（お化け屋敷）

C している最中のことを表す

現在進行形

⑤ I'**m writing** an essay for my English class.
⑥ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE

⑤**している最中のこと**を表すときは，**現在進行形**（am/are/is＋動詞のing形）を使う。
⑥**変化している最中のこと**や**一時的な状態**を表すときも，**現在進行形**を使う。

CHECK 〉2人の会話を聞いて，空所を埋めよう。

Kenta and Andy are talking on the phone.

Kenta: What are (　　) (　　)?
Andy: (　　) (　　) a poster for my presentation. I have to finish it tonight, but I'm (　　) tired.
Kenta: That's too bad. Tom and I (　　) (　　) games online now, but we can help you.
Andy: Really? That's very kind of you!

TASK 〉上のCHECKの会話を参考にして，電話をかけているという設定で会話をしてみよう。その際，時間帯は休日や夜など自由に設定しよう。

E-GUIDE　機能表現（EXPRESSIONS）を活用

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

- I see.（なるほど）　・Yes, indeed.（確かに）　・I think so, too.（私もそう思います）
- I can't believe it!（信じられない！）　・Really?（本当？）　・No way!（ありえない！）
- That's nice［good / great / wonderful / fantastic］!（すばらしい！）　・That's too bad.（それはお気の毒に）
- I'm sorry to hear that.（それは残念です）　・You're kidding!（冗談でしょ！）　・Are you serious?（本当に？）

D これからの予定を表す

現在進行形：予定

⑦ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.

F-GUIDE

⑦これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに，**現在進行形**を使うことができる。

TASK 〉今日の午後、または週末の予定について会話をしてみよう。

例 **A:** What **are** you **doing** after class?
B: I'**m meeting** Chris to talk about our plan this weekend.
A: **Are** you **going** somewhere?
B: Yes. We **are going** cycling.

達成評価（セルフチェックリスト）

Self-Check（できることに✓を入れよう）
- □A 現在の状態を表すことができる。
- □B いつもすることを表すことができる。
- □C している最中のことを表すことができる。
- □D これからの予定を現在進行形で表すことができる。

「クラスメイトの紹介」「朝の習慣」など，
レッスンごとのテーマで自己発信をします。

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

グループで共有する言語活動

①クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。

例 Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport [food/color]?

②インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。

_____ went to _____.
He/She _____ to school.
He/She _____ in his/her free time.
His/Her favorite _____.

③グループになって，インタビューしたクラスメイトのことをほかの人に紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について，感想を言ったり質問したりしよう。

テーマにそった英文を「書く」言語活動

WRITE 「朝の習慣」について書こう B

①自分が朝していることを書き出そう。

例 I **get** up at 6:00. I **get** dressed. I **eat** breakfast.
I **ride** my bike to school. It **takes** fifteen minutes.

②接続詞（and, but, when）や副詞（first, then）などを使って，時間の流れにそって自分の朝の習慣を文章にしてみよう。

例 I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed and then **take** my dog for a walk. After that, I **eat** breakfast and **brush** my teeth. Then I **leave** for school at 7:15.

SHARE・WRITEの達成度をセルフチェック（自己評価）

Self-Check ☑
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。3 2 1
朝の習慣について，時間の流れにそって書くことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

発信するための論理的な考え方

自分のことを伝えるときに，I like playing the piano. I read many books. のように事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I like playing the piano. I really love classical music. のように前の文につながるような情報を加えるなど，文と文の関連を意識して，まとまりのある文章にしましょう。

LESSON 10

Future Activities

将来したい活動について話す

Start-Up ▶ ボランティア部のYuiが，Mikeに声をかけています。

Yui: Hi, Mike. Are you free on Saturday? The volunteer club is visiting a nursing home. **Do you want to go with us?**
Mike: Oh, I'm interested in volunteer work, but I don't know what I can do for elderly people.
Yui: You can cheer them up by singing songs.
Mike: I'm not good at singing. I'm not sure I can do it.
Yui: Oh, **don't be shy.** Of course **you can do it!** And it'll be a good chance for you to have a unique experience.

・a nursing home：老人ホーム　・elderly：年配の

Tips for Better Communication 何かをする自信がないときは，I don't know what I can do. や I'm not sure I can do it. のように言うと，相手もアドバイスがしやすくなります。

会話中の色文字と対応

FORMS 「〜すること」を不定詞で表す

「〜したい」と言うときは，wantに**不定詞**〈**to＋動詞の原形**〉を続けます。I want **to go** with you. は「私はあなたといっしょに行きたい」です。この場面ではDo you want to go with us? と問いかけていますが，これは「行きたい？」とたずねているのではなく，「行かない？」と誘っているのです。

不定詞は**名詞**のはたらきをして，「〜すること」を表します。名詞なので，**主語**や**補語**，**動詞の目的語**として使うことができます。wantやhopeのような動詞のあとに続ける不定詞は目的語になります。

EXPRESSIONS 励ます

「がんばって」という励ましの気持ちを伝えるときは，**Good luck!** / **You can do it!** のように言います。**Take it easy!** もよく使われます。

SOUNDS /ŋ/と/ŋg/の発音

visitingの語末の/ŋ/は，舌の後部と口の奥で呼気の流れを止め，鼻へ流して発音します。singerのような〈gで終わる動詞＋er〉も/ŋ/の音で，fingerのような語中のngは/ŋg/の音です。

visiting, nursing, singing, doing, making, song, ring, young / finger, hungry

TALK

会話の内容を確認し，YuiとMikeになりきって会話をしてみよう！

Pick-Up 「ボランティア活動」は**volunteer work**［**activities**］です。volunteerは「自ら志願する人」がもともとの意味で，授業中にAny volunteers? と先生が言えば，「だれかやってくれる人はいる？」という意味です。

INTERACTIONS 将来のことを話す

A 「〜すること」を主語や補語として表す

不定詞の名詞用法：主語・補語

① *It*'s important **to set** clear goals.
② My dream is **to work** for the United Nations.

F-GUIDE

①「〜すること」を**主語**にするときは**不定詞**（to＋動詞の原形）を使う（形式主語のitを使うのがふつう）。
②「〜すること」を**補語**にするときも**不定詞**を使う。

CHECK 〉イラストの2人の高校生の夢について，以下の語を参考にして説明してみよう。

［ player / difficult / professional ］　［ start / necessary / business ］

⇒ACTIVE LEARNING の SHARE の活動（p.72）で，Aの表現を活用しよう。

この文法・表現を活動ページで活用することを明示

B 「〜すること」を目的語として表す

不定詞の名詞用法：目的語

③ I hope **to study** business in the United States.

F-GUIDE

③hopeやwantのような動詞の**目的語**を「〜すること」としたいときは，**不定詞**を使う。

CHECK 〉会話を聞いて空所を埋めよう。

A: _____ in the future?
B: I haven't decided yet, but I want _____. What about you?
A: Actually, I _____ an actor, so I go to the actors' school on weekends.
B: Really? I didn't know that. That's great! _____ !

E-GUIDE

相手がしようとしていることを聞いたら励まして応援しよう。
・Good luck! / Go for it! / Hang in there!（がんばって！）　You can do it!（君ならできるよ！）
・Think［Stay］positive!（前向きに！）　・You'll be fine!（きっとだいじょうぶだよ！）　・Keep going!（その調子！）

⇒ACTIVE LEARNING の WRITE の活動（p.72）で，Bの表現を活用しよう。

C 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」のような意味を表す

疑問詞＋不定詞

④ I just don't know **what to study** in college.
⑤ *It*'s hard to know **when to get married**.

F-GUIDE

④「何をすべきか」のように表すときは，〈**疑問詞＋不定詞**〉を使ってwhat to *do* のようにする。〈疑問詞＋不定詞〉は名詞のはたらきをする。
⑤「いつ〜するか」のように表すときも，〈**疑問詞＋不定詞**〉を使う。

CHECK 〉（　）内の語を並べかえて英文を完成させよう。

1. I haven't decided (to / do / what) in the future.
2. She hasn't decided (subjects / to / which / study) at cram school.
3. Mr. Jones showed us (get / where / to　) the application form.
4. Could you tell me (to / for / how / apply) the scholarship?
5. I don't know (to / talk / who / to) about my future.

TASK 〉あなたは短期語学留学をしたいと思っている学校に，留学の申込みや現地での学習や生活のことを質問しようとしています。質問の内容を書いてみよう。

例 I'm interested in attending your language program. Could you tell me **how to** get an application form? Also I'd like to know **where to** submit it.

CHECK 〉で文法の確認 ＋ TASK 〉言語活動に活用

D だれがするのかを示す・「〜しないこと」を表す

不定詞の意味上の主語と否定語

⑥ I think it is a good decision *for him* **to start** his own business.
⑦ My grandfather always tells me *not* **to give up** on my dream.

F-GUIDE

⑥**不定詞の主語**を示す必要があるときは，forを使って〈**for …＋不定詞**〉とする。
⑦**不定詞の意味を否定**して「〜しないこと」とするときは，〈**否定語＋不定詞**〉とする。

TASK 〉将来の夢について会話しよう。相手の夢について質問し，励ましたり応援したりしよう。

例 **A:** My dream is to work for the United Nations.
B: That's great! You want to work for international peace, don't you?
A: Yes, I do. I think it will be difficult **for me to achieve** it, though.
B: It might be, but I'm sure you can do it! You've been studying very hard. I believe the key to success is to keep on trying and **never to give up**.

VOCABULARY

・get a job（職に就く）
・help people（人を助ける）
・earn a good income（高収入を得る）
・run a company（会社を経営する）
・set up（〜を立ち上げる）
・start a business（事業を始める）
・enter university（大学に入る）
・study business（ビジネスを学ぶ）
・motivation（動機）
・a resume（履歴書）
・a qualification（資格）
・a job interview（就職の面接）
・a meaningful job（やりがいのある仕事）
・an application form（申込書，願書）
・take over one's family business（家業を継ぐ）
・get a master's degree（修士号を取る）

Self-Check（できることに✓を入れよう）
□A「〜すること」を主語や補語として表すことができる。
□B「〜すること」を目的語として表すことができる。
□C 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」などの意味が表せる。
□D だれがするのかや「〜しないこと」を表すことができる。

ACTIVE LEARNING

Future Activities

SHARE 将来してみたい活動について話そう A

①自分が将来してみたいことを考えて，メモしよう。

以下のことを書き出そう。

1. してみたい仕事・就いてみたい職業
2. その理由
3. そのために自分がすべきこと

例 My dream is **to work** for the World Bank. I believe that it is important **to help** people in developing countries. So I have to study hard and learn many things, for example, two foreign languages.

②グループになって，順番に発表しよう。

聞き手はそれぞれの発表について，感想を言ったり質問したりしよう。

前ページまでに学んだ文法項目との対応が分かる

WRITE 「ボランティア募集」の告知文を書こう B

校内の生徒から多くの協力を得て行う活動を自由に考えて，全校生徒にボランティアを募集するポスターの原稿を書いてみよう。

次の流れで書いてみよう。

1. 呼びかけのことば
2. どんな問題を解決しようとしているのか
3. 活動の具体的内容や参加の方法

例 **Volunteers Needed**

Do you like **to spend** time outdoors? Do you want **to help** keep our river clean? Our Beautiful Town is a volunteer organization, and it is holding a river clean-up this Saturday from 8:00 a.m. We all know that it's important to help our local community, and this is your chance. If you're interested, please come to the meeting on Friday after school in Room 201.

Self-Check ☑
将来したいことについて，考えを話すことができた。3 2 1
ボランティアを募集する文を書くことができた。3 2 1

LOGICAL THINKING

人に活動への参加や協力を呼びかけるときは，最初に質問の形で問いかけたり短い標語を使ったりすると，相手に興味をもってもらいやすくなります。次に活動のねらいやコンセプトなど大まかな要点を伝えましょう。そして最後に活動の内容や時間，場所といった詳しい情報を伝えるとよいでしょう。

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

指導資料
Teacher's Book（朱書本）
Smart

Start-Up *Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.*

0-00

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
（現在形で〈習慣的行為〉）
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday**.
（現在の〈事実・状態〉を表す）
（副詞で「毎日」は，every day と2語で表す。everyday は形容詞「毎日の～」なので注意）
Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
（複数形にして，「毎月曜日；毎週末」の意）
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. (= on Mondays) On weekends, **we sometimes have soccer games**.
Andy: Wow! You don't have much free time.
（「時間」の意の time は不可算名詞。複数形にはしない。cf. many times＝「何度も」）
Kenta: No, not much. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.
（「ないんだね。」と言われて，日本語では，「うん。」と言うが，英語では No, と答える）

・hang out with：～と遊ぶ

comprehension check
T: "What sport does Kenta, play?"
- **He plays soccer.**
"When does he play soccer?"
- **Every day (except Monday, and some weekends).**
"And what does he do on Mondays?"
- **He goes to cram school.**
"How about the weekends?"
- **He plays soccer or hangs out with his friends.**

英語での授業にも

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えたら，関連する情報を 1 つ加えましょう。
新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ，会話が続きます。

FORMS 現在のことは現在形で表す

住んでいる所や持っているもの，入っている部活のような**現在の状態**や，日々の暮らしの中で**いつもすること**を表すときは，**動詞の現在形**を使います。

動詞の現在形が表すのは「今」という一時点だけでなく，過去から現在，そして未来へと広がる時の範囲です。したがって，play のような**動きを表す動詞の現在形**は，**繰り返しするようなこと**を表します。I **play** soccer. だけで，「いつもサッカーをする」ことを表すことができるのです。
（これまでも，今も，これからも習慣的に繰り返しすること）

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

あいづちを打つことで，相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!** は，下がり口調なら「そうなんだ!」，**Really?** と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときは I see. や I understand. いい話だと思えば That's nice. よくない話なら That's too bad. のような表現を使います。
（前に述べられた個人的な経験や考えを指すときに that を使い，It's nice とは言わない）

SOUNDS /l/ と /r/ の発音

0-00

/l/ は舌の先を上の歯茎にあてて発音し，/r/ は舌を口の奥のほうに丸めるようにして発音します。

like, live, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

（light と right [write] では全く異なる意味になるので，l と r で始まる語を発音する時には，特に注意。l は日本語のラ行の音に近く，r は「ウ」と発音したあと舌を丸めて言うと原音に近い音になる）

TALK

会話の内容を確認し，Andy と Kenta になりきって会話をしてみよう！

Pick-Up 入っている部活動は，**I'm in the soccer club.** のように言えば簡単です。I belong to ....（私は…に所属している）だと少しかたい表現になります。運動部なら，I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

TT Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

「～の近くに」の意でpeopleを後置修飾している。near youと言うこともできる

A 現在の状態を表す

現在時制では，主語が三人称単数の時の述語動詞の形を徹底して学ばせる

現在形：状態動詞

0-00

① I **like** cats very much.
② My uncle **has** two cars.
三人称単数現在

F-GUIDE

①好きなものや思っていることなど，**現在の心理的な状態**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。believe, feel, hope, know, like, think, understand, want など
②持っているものや住んでいる所のような**現在の状態**を表すときも，動詞の**現在形**を使う。belong, contain, have, live, look, resemble など

0-00

TASK 与えられた動詞を使って，自分や身近な人に関する３つの文を書いてみよう（同じ動詞を２度使わないこと）。それぞれの文には，情報を1つずつ加えよう。

[believe / know / like / love / remember / need / want / have / live / resemble]

例 I love rock music. I'm in a band.
My brother doesn't like vegetables. He especially hates celery.
「～に似ている」はresemble toとしないよう注意
「特に」の意の副詞。修飾する語（句）の前後に置く。文頭にはおけないので，注意
celeryは不可算名詞。数えるときは，a head of celery（1株のセロリ），a stick of celery（1本のセロリ）

自分が書いたことを話してみよう。

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

0-00

③ I *usually* **get** to school at 8:30.
get to school（学校に着く）とgo to school(学校に行く）との違いを確認
④ My mother **teaches** biology at a high school.
三単現。スペリングも確認

F-GUIDE

③**繰り返しすること**や**習慣になっていること**を表すときは，動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと**頻度**を表すことができる（always > usually > often > sometimes > rarely > never）。
④**職業**や**習性**，**話す言語**などを表すときも，動詞の**現在形**を使う。

0-00

TASK 自分や身近な人がいつもすることについて会話をしてみよう。

例 **A:** What do you do in your free time?
B: I usually read books. I like Murakami Haruki.
A: Really? I like Murakami, too.
B: Wow! That's great!

0-00

E-GUIDE I see.（なるほど）・I think so, too.（私もそう思います）・I can't believe it!（信じられない！）・Really?（本当？）・No way!（ありえない！）

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

・I see. ・I think so, too. ・I can't believe it! ・Really? ・No way!
・That's nice[good / great / wonderful / fantastic]. ・That's too bad. ・Is that true? ・Yes, indeed.
・You're kidding! ・Are you serious?
相手の個人的な経験や考えを指して「それ」と言う時は，itではなくthatを用いる。itは通念であると考えられることに用いる。

0-00

VOCABULARY

・wake up	・walk one's dog	・water the plants	・go to the library
・wash one's face	・have breakfast	・leave for school	・go to cram school
・take a shower	・have[drink] coffee	・talk with friends	・do club activities
・brush one's teeth	・get dressed	・use a computer	・do one's homework

get up（起床する）との違いを確認
have a showerとも言う
take one's dog for a walkとも言う
「（パジャマなどからきちんとした服に）着がえる」の意。 cf. change clothes「（ある服から別の服）に着がえる」
このwaterは「～に水をやる」の動詞

Teacher's Book

英語での授業案

英語で展開する授業のアイデアを教科書の見開きで提示

INTERACTIONS

A

GOAL: Have students write and then talk about their current situation, feelings, and the people close to them.

TASK1: Use any of the ten verbs to write three sentences using the present tense. Add new information in each sentence, but don't use the same verb twice.

T: "We're going to write three sentences about ourselves, our families, or other people close to us. I'm going to give you 10 verbs, and you can choose three of them. Don't use the same verb twice! Add some new information for each sentence. You can write negative sentences, too! I'm going to give you an easy example. Let's use these ten verbs to get started."
(example)
"I **love** K-Pop. I **have** many K-Pop songs on my phone. I **remember** the words to several of the songs."
T: "OK, now it's your turn. I'll give you a few minutes to write your sentences."
(sample answers)
My sister still believes in Santa Claus. I don't want to ruin her dream.
Eri knows a lot about animals. She wants to be an animal doctor in the future.

TASK2: Read aloud what you wrote.

T: "Everyone did well. Now you need to find a partner. In pairs, read your sentences to each other. Is everyone ready?"

B

GOAL: In the first task, have students make simple conversations in pairs about their daily habits, In the second task test their listening skills.

TASK 1: Talk about things that you and the people around you often do on a daily basis.

T: "Do you remember the words used to describe frequency? Frequency means 頻度 in Japanese. Let's use those words (always>usually>often>sometimes>rarely>never) and make short conversations. Also use the expressions (aizuchi) from the Guide on page 22."
(sample answers)
A: What do you do in your free time?
B: I sometimes go to a cafe near my house and relax.
A: Really! Can I go with you next time?
B: Of course you can!

INTERACTIONSにはそれぞれ見開きで，「英語での授業案」のページが入ります。

Teacher's Book

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

0-00

①自己紹介をしている次の文を読もう。

I graduated from ... でも良い

I'm Honda Kenta. I'm a graduate of Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

I belong to the school soccer club. とも言う

「外交的な；社交的な」の意。sociable/friendly なども可

②上の例を参考に，自己紹介の文を考えて，メモにまとめよう。

自分の好きなことや性格，これからの目標などを入れてみよう。

③グループになって，順番に自己紹介をしよう。

・Hello, everyone! で始め，最後に Thank you for listening. Do you have any questions? とたずねよう。
・聞き手は発表者に質問を 1 つしよう。
⇒質問を考えながら聞くことで，相手の話をよりアクティブに聞くことになります。

例 How long have you played soccer? / Do you like any other sports?

How long ... は，「どのくらい長く」の意で期間を聞いている

その他の例：What is your favorite sport [food/color/TV program]?
What food do you like [dislike]?
What are you good [poor] at? など

Self-Check ☑
自分のことについて伝えることができた。3 2 1
聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

SHARE Introduce yourself.
① Read an example of a short self-introduction
② Prepare your own self-introduction
③ Make groups, and read your self-introductions in turn

Self-Check
Were you able to introduce yourself confidently to your group?
Did you make eye-contact with your group when you spoke?
did well / did OK / did poorly

WRITE いつもの行動を書こう

0-00

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで，[ ]から適語を選び，空所を埋めよう。

接続詞で後に SV が続く。前置詞と区別　主語の I が省略されている

I (get) up at seven in the morning. After I wash my face and get dressed, I always (have) a traditional Japanese breakfast with my family. I (leave) home at eight and get to school by eight-thirty.

「～に着く」の意。go to school（「学校に行く」）との違いを確認　by「～までに（は）」

この場合 home は無冠詞単数：leave home / go home / come home

[have / leave / get]

②自分の毎朝の行動（morning routine）や帰宅後の行動（evening routine）を40語程度で書いてみよう。

「決まってすること」の意。発音・アクセントに注意。/rù:tí:n/

接続詞 and を使って，時間の流れにそって行動を説明しよう。

Self-Check ☑
いつもの行動について，40語程度で表現することができた。3 2 1
時間の流れにそって，自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。3 2 1
3：よくできた。2：まあまあできた。1：あまりできなかった。

WRITE Write about your daily routines.
① Fill in the blanks with the words below.
② Write about your own morning or evening routine in 40 words.

Self-Check
Were you able to write about 40 words?
Were you able to use the right verbs to write about your daily routines?
did well / did OK / did poorly

資料ページ Smart

Active Learningや言語活動に
活用できる資料ページ。

Clear 資料ページ
- 世界の都市と観光名所
- 世界の偉人たち
- データを分析しよう
- 社会問題について考えよう

for ACTIVE LEARNING

世界の都市とゆかりの人物

Boston (the U.S.)
John F. Kennedy
(1917-1963)
マサチューセッツ州の都市。アメリカ合衆国第35代大統領ケネディは，ボストン近郊生まれ。

Warsaw /wɔ́:rsɔ:/ (Poland)
Frédéric Chopin
(1810-1849)
ポーランドの首都。作曲家・ピアニストであるショパンはワルシャワで育ち，主にパリで活躍。

Kamakura (Japan)
Minamoto no Yoritomo
(1147-1199)
神奈川県南部の都市で，鎌倉時代に幕府が置かれた。源頼朝は鎌倉幕府の初代将軍。

Los Altos (the U.S.)
Steve Jobs
(1955-2011)
シリコンバレー北部の都市。アップルの共同創設者ジョブズが少年時代を過ごした家がある。

World Cities Related to Historical Figures

Kolkata /kɑ:lkɑ́:tə/ (India)
Mother Teresa
(1910-1997)
インドの北東に位置する都市。ここでマザー・テレサは修道院を立ち上げ，多くの人を救った。

Mainz /maints/ (Germany)
Johannes Gutenberg
/jouhǽnis gú:tnbə̀:rg/
(1398-1468)
ドイツ南西部の都市で，活版印刷を発明したグーテンベルクの出身地。彼のおかげでだれもが読書を楽しめるようになった。

Cape Town
(Republic of South Africa)
Nelson Mandela
(1918-2013)
南アフリカ第 2 の都市。ロベン島には，反アパルトヘイト運動を率いたマンデラが収容された刑務所がある。

Manchester (the U.K.)
Emmeline Pankhurst
/émәli:n pǽŋkhə:rst/
(1858-1928)
イングランド北西部の都市。同市出身のパンクハーストは，女性の地方参政権を求め，運動を起こした。

発信活動の手引き Clear Smart 共通

英語での発信活動を効果的に行うための方法を紹介。
用例を見ながら，論理的な伝達方法の基本が学べます。

- スピーチをしてみよう！
- ディベートをしてみよう！
- パラグラフを書いてみよう！
- プレゼンテーションをしてみよう！
- 論理的に考えてみよう！
- ディスカッションをしてみよう！

Debate

ディベートをしてみよう！

与えられたテーマ（動議）について，肯定側（the affirmative）と否定側（the negative）の２チームに分かれて論戦をするのがディベートです。ディスカッションも複数の人で行う議論ですが，ディスカッションは「意見の一致を目指す議論」，ディベートは「意見の対立を前提とする議論」，と形式が異なります。ディベートでは，最終的に審判を納得させる議論ができたチームが勝ちとなります。野球のように攻めと守りが交代し，作戦タイムもあります。ルールに則り，フェアプレーの精神に基づいて勝敗を競う「知的なゲーム」と言えます。

ディベートは司会者，討論者，審判によって行われます。それぞれの役割は以下のとおりです。

概要を説明

役割	活動内容
司会者（Moderator）（1名）	ディベートが円滑に進行するように導きます。タイムキーパーを兼ねることもあります。
討論者（Debater）（肯定側２名，否定側２名）※肯定側か否定側かは個人の考えとは無関係に，くじやじゃんけんなどで決める。	動議に対して「賛成」「反対」で２つのグループに分かれ，議論を行います。口げんかのような感情的な言い争いではなく，審判を納得させるための説得力のある議論を展開します。
審判（Judge）（主審１名・副審２名）	中立的な立場で，ディベートの勝敗を判定します。「〜のほうが…の点で，より説得力がある」と根拠を述べることができるように，注意深く議論を見守ります。

では，「学校でのスマートフォンの使用は許可されるべきだ（The use of smartphones at school should be permitted.）」という動議について，どのようにディベートが行われていくのかを見ていきましょう。

[立論]の手順を解説

立論 **動議について自分たちのチームの「主張」を明確に示し，その根拠を述べます。**

①肯定側立論（Affirmative Constructive Speech）※動議がなぜ肯定されるべきなのかを論じる。
Our team believes that students should be allowed to use smartphones at school. We have two reasons. Let me explain. First, ...

⇓

②否定側立論（Negative Constructive Speech）※動議がなぜ否定されるべきなのかを論じる。
Although allowing the use of smartphones in Japanese schools may be a popular idea, we disagree for two main reasons. We believe ...

⇓

作戦タイム（Preparation Time）※反論の前に質疑の時間をとることもあります。

⇓

[反論]の手順を解説

反論 **相手の主張に対して反論し，自らの主張を守ります。**

③否定側反論（Negative Attack）※肯定側に反論し，自分たちの主張を弁護する。
The team taking the affirmative position said that using smartphones in class is an effective way to learn. However, is this really true? There are too many negative points. For example, ...

⇓

④肯定側反論（Affirmative Attack）※否定側に反論し，自分たちの主張を弁護する。
Those taking the negative position said that smartphones at school are unhealthy and a big temptation. However, ...

⇓

作戦タイム（Preparation Time）

⇓

[まとめ]と[判定]の手順を解説

まとめ **自分たちの主張を要約し，審判に対して自分たちの優位性を訴えます。**

⑤肯定側まとめ（Affirmative Summary）※立論，反論の議論をふまえ，肯定側の主張の正しさを伝える。
Please allow me to summarize our position. We strongly feel that ...

⇓

⑥否定側まとめ（Negative Summary）※立論，反論の議論をふまえ，否定側の主張の正しさを伝える。
Let me begin our summary. We think smartphones are ...

⇓

審判の判定（Judgement）※どちらが勝ちかを判定します。

TRY! **肯定と否定の立場で意見を述べよう**

ペアになって，「学校でのスマートフォンの使用は許可されるべきだ」というテーマに対して肯定・否定の立場で意見を述べてみましょう。

EXAMPLE

肯定： If students could use their smartphones, they could use a variety of educational applications in their class.
否定： There is a lot of evidence that long periods of smartphone usage among teenagers is unhealthy.

TASK

・次のテーマでディベートをしてみましょう。※司会や審判なしで行うミニ・ディベートから始めましょう。
「高校は制服を廃止すべきか」「コンビニエンス・ストアは，24時間営業すべきか」

学んだ手順をもとに別テーマで応用練習

Keep Talking Clear Smart 共通

英語を使う場面ごとによく使われる会話表現集。
「やり取り」の活動に最適な状況設定と豊富な例文。
会話・リスニング試験対策にも効果的。

Scene① 移動する
Scene② 食事をする
Scene③ 買い物をする
Scene④ 道をたずねる
Scene⑤ 電話で話す
Scene⑥ 病院に行く

KEEP TALKING

Scene 1 移動する

モデル会話の音声再生

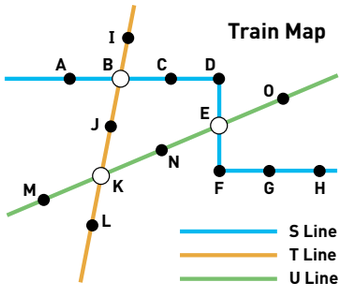
Role-Play 駅での会話をペアで練習してみよう。

[at a ticket office] T: Traveler C: Clerk

T: I'd like a ticket to Oxford, please.
C: Single or return?
T: Return, please.
C: Do you want a reserved seat?
T: No, thanks. What time does the next train leave?
C: The next train leaves at 11:45 from Platform 5.

T: オックスフォードへの切符をお願いします。
C: 片道ですか，往復ですか。
T: 往復切符をお願いします。
C: 指定席になさいますか。
T: いいえ。次の列車は何時に出ますか。
C: 次の列車は11時45分発で，5 番ホームからです。

TASK ペアになって自分たちで場面を設定し，Expressionsの表現を参考に話してみよう。



例 T: I'd like to go to O Station. Could you tell me how to get there?
C: First, take the S Line to E Station. Then, transfer to the U Line. O Station is the next station after E Station.
T: Thanks.

Expressions

T
- How do I get to M Station? (M駅へはどうやって行くのですか)
- Which platform does the train for O Station leave from? (O駅行きの電車は何番ホームからですか)
- What station do I get off at to go there? (そこへ行くにはどの駅で降りたらいいですか)
- How long does it take to Q Station? (Q駅まで，どのくらいの時間がかかりますか)

C
- Take the Y Line to Z Station. (Z駅までY線に乗ってください)
- You have to change trains at the next station. (次の駅で乗り換えなければなりません)
- Transfer to the W Line at X Station. (X駅でW線に乗り換えです)

Communication TIPS

英語でコミュニケーションするうえで
知っておきたい情報を紹介。異文化間のやりとり
という観点からわかりやすく解説しています。

Clear Smart 共通
①言外の意味
②ノンバーバル・コミュニケーション
③相手に応じたことばづかい
④話の展開のしかた

Communication TIPS ③

相手に応じたことばづかい

私たちは大人になるにつれて，いつ，どんな場面で，だれに対して，何について話すのかによって，ことばの使い方を合わせることを学んでいきます。これは，母語であれば，日常生活の中で自然と身についていくスキルですが，英語でコミュニケーションをとる際も，状況や相手のことを考えて話したり書いたりすることはとても大切です。英語を外国語として勉強していると，どうしても「発音や文法の正しさ」ばかりに注意が行ってしまいがちですが，本当は「状況や相手に応じた適切さ」こそ，コミュニケーションを成功させるひけつなのです。

たとえば，「お礼を言う」という状況を考えてみましょう。もちろん“Thank you.”というのは，ほとんどどんな場面でも，どんな相手に対しても使える表現ですが，もう少し細かく見ると，フォーマルにかしこまって感謝の意を伝える場合から，親しい人にインフォーマルに軽くお礼を言う場合まで，いろいろなお礼の言い方があることがわかります。

“I really appreciate your help.” フォーマル
“Thank you for your help.”
“Thank you.”
“Thanks.” インフォーマル

また，人に何かを頼む場合は，相手に十分配慮した適切な表現を心がけることが必要になります。相手との親しさ，上下関係，依頼する内容の重大さなどに応じて，表現のていねいさの度合いが異なるからです。

ていねいさの度合い
“Would you mind lending me your bicycle?” 大
“Could you lend me your bicycle?”
“Can you lend me your bicycle?”
“Lend me your bicycle, please.” 小

ていねいになればなるほど，表現は長くなるという特徴があります。また，相手が依頼を断ることもできるように疑問文でたずねるというのが一般的です。上記の例（自転車を貸してほしいという依頼）の場合，相手が目上の人か，親友か，あまり知らない人なのか，また，相手の自転車がどのくらい新しいか，高価なものなのかなどによって，ていねいさの度合いは変わります。相手に依頼をする際は，どの程度のていねいさが必要かということに注意しましょう。

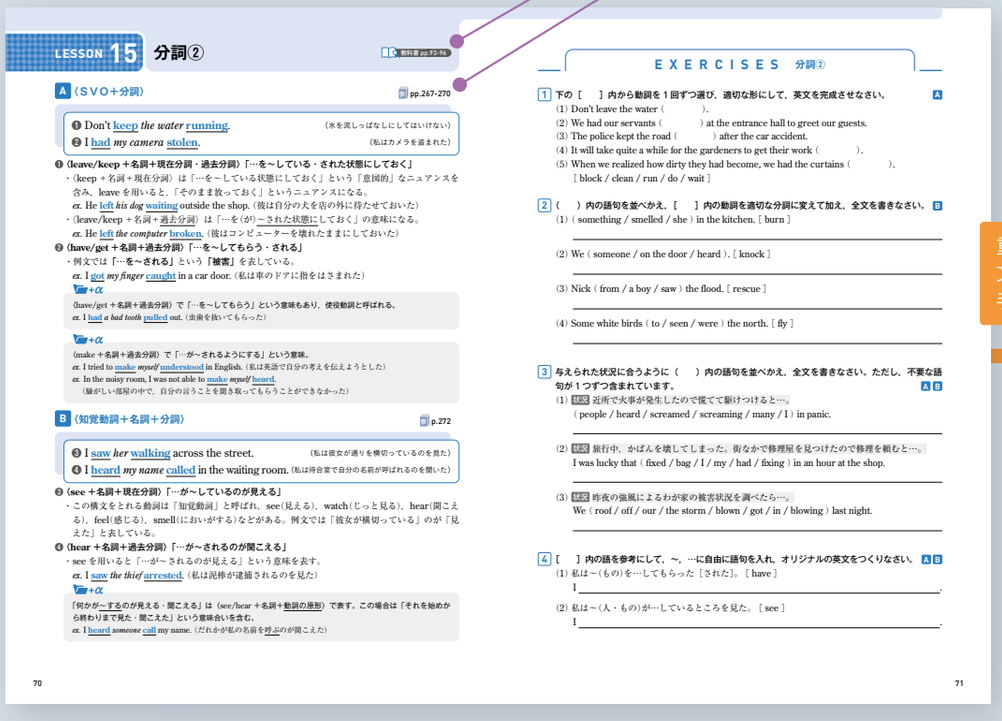
生徒用教材

Grammar Book

教科書の文法解説と演習問題を
より充実させた教科書準拠の補助教材

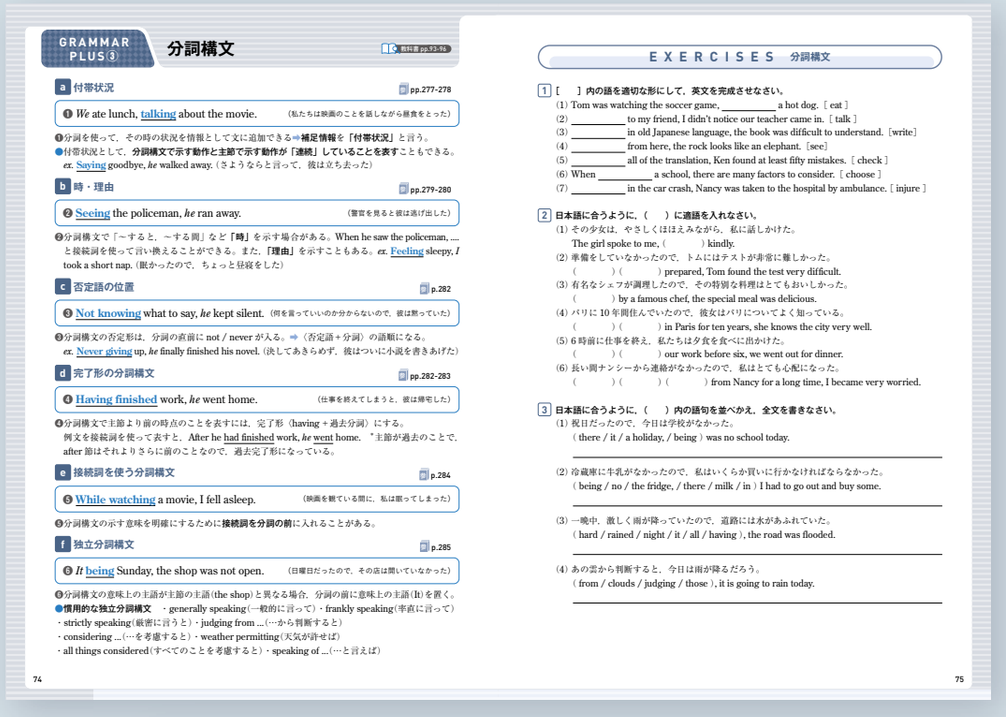
教科書の該当ページ　参考書の該当ページ　参考書『総合英語be』と連動しています

Smart　左ページ　詳しい文法の解説で教科書の理解を助ける　／　文法を網羅した練習問題　右ページ

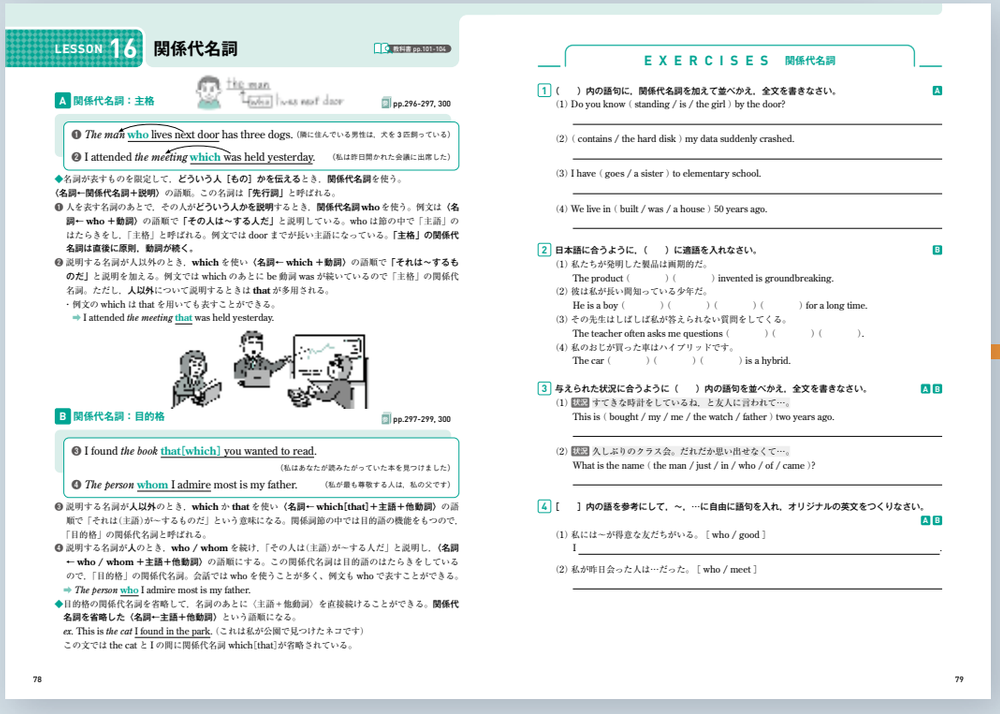


重要な文法項目を手厚く補う

Smart　GRAMMAR PLUS　教科書で扱っていない文法項目も網羅

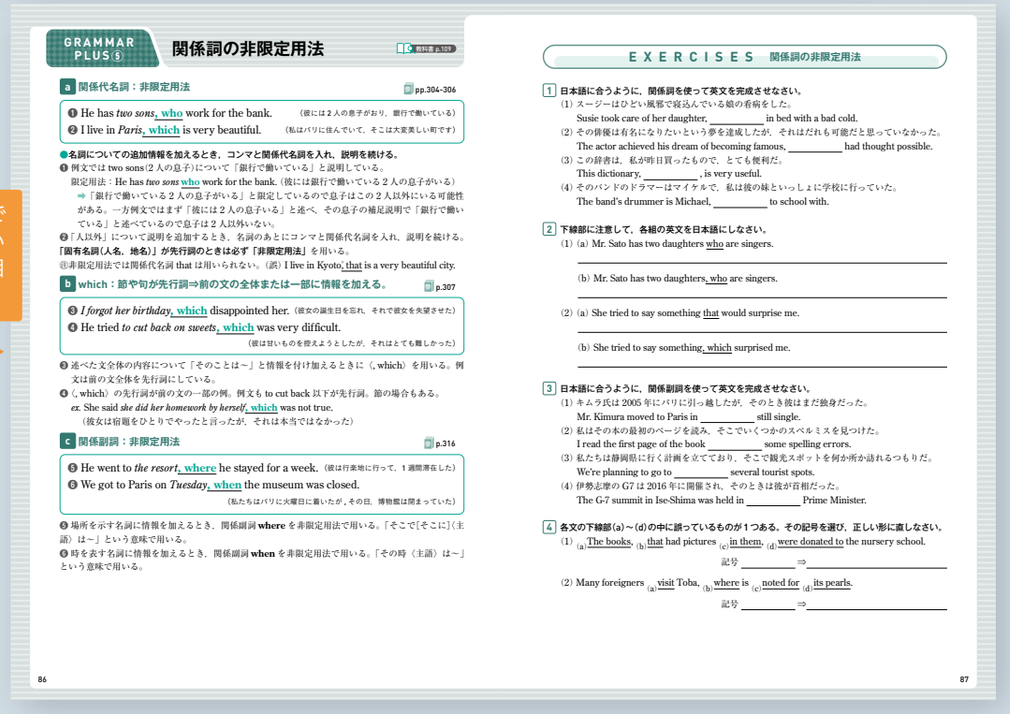


Clear



教科書で扱わない文法項目を補完

Clear



Workbook

教科書の学習項目を使って表現力を
強化するためのワークブック

My English Portfolio

教科書の例文を参考に，自分のことばで
英文を書くための書き込み式学習ノート

Smart

教科書の該当ページ

リスニング・ボキャブラリ・ライティング
問題をバランスよく出題

LESSON 21 願い事について話す—仮定法—

教科書 pp.137-139
学参書 pp.388-397

Listening

これから Mina と Mary の会話と，会話に関する質問が音声で流れます。最も適する答えを1つずつ選んで，記号を記入しなさい。

Q1 a. She can't find a good school. b. She can't decide which scholarship to get.
c. It might be too expensive. d. It might be too late to get a scholarship. (　　)

Q2 a. To do more research about schools. b. To work harder to get money. (　　)
c. To select the best scholarship for her. d. To continue to study English hard.

Vocabulary

次の語句に続けるのに適するものを(a)～(e)より1つずつ選び，記号を記入しなさい。

(1) We will try ・ ・(a) a desire to play in the Premier League. (1) (　　)
(2) I will set ・ ・(b) various approaches for this movement. (2) (　　)
(3) You should reflect ・ ・(c) a goal for the next year. (3) (　　)
(4) I have ・ ・(d) best to be helpful to others. (4) (　　)
(5) She always tries her ・ ・(e) on your mistake. (5) (　　)

Writing

1 日本語の意味に合うように，(　　) に適語を入れなさい。
(1) もし私が昨日これを知っていたら，私はもっと早くあなたに電話したでしょう。
If I (　　) (　　) this yesterday, I (　　) (　　) (　　) you sooner. B
(2) そろそろあなたが新しい人生を始める決心をするべき時です。
(　　) (　　) you made (　　) your (　　) to start a new life. D
(3) 私のネコが人間の言葉を話したらいいのに。
I (　　) my cat (　　) human language. C
(4) 世界中どこにでも旅行ができるのなら，オーストラリアに行きます。
If I (　　) travel anywhere in the world, I (　　) (　　) to Australia. A

2 日本語の意味に合うように，[　] 内の語を参考にして，英文を完成させなさい。
(1) 建築家から仕事についてのアドバイスを受けられたらなあ。 [wish / receive]
I _____ I _____ some career advice from an architect. C
(2) もし私が宇宙飛行士だったら，ほかの惑星で生命体を探すでしょう。 [be / search]
If I _____, I _____ for life on other planets. A
(3) もっとよい成績を取っていたら，母さんが自転車を買ってくれたのに。 [get / buy]
If I _____ better grades, Mom _____ me a bike. B
(4) 彼らはまるでその計画について何も知らないかのようにふるまいました。 [behave / know]
They _____ they _____ nothing about the project. D

3 日本語で与えられた状況に合うように，(　　) 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。
(1) 状況 いつまでも翼のすねをかじっているいとこ。そろそろ…。 D
(and / home / time / left / my cousin / it's) became independent.
_____
(2) 状況 ゲーム好きな友人が夢を語っている。 C
(I / I / a / wish / were / game creator) and could make games that become hits.
_____
(3) 状況 悩める学生にアドバイス。 A
If (you, / effort / were / would / every / I / I / make) to realize my dream.
_____
(4) 状況 先週買った宝くじははずれだったけれど，もしも…。 B
(I / I / if / would / won / have / the lottery, / had) bought a baseball team.
_____

4 (　　) に適語を入れ，兄の願望に関する文を完成させなさい。
My brother is a teacher, but he wishes he (　　) a police officer. He has wanted to work in law enforcement and help people ever since he was a kid. If he (　　) passed the test, he (　　) (　　) realized his dream and (　　) a really good police officer. But now he is a teacher, and the students find him very helpful. If I (　　) him, I (　　) (　　) proud of my accomplishments.

5 下のイラストと合うように，Ryu と Meg の対話文を完成させなさい。ただし，[　] 内の語句を使うこと。

(1) [rain / start]
(2) [get up]

Ryu : (1) If only _____ five minutes later!
Meg : You should have left home five minutes earlier.
Ryu : Yes. (2) I wish I _____ five minutes earlier.

58 59

Smart

別冊解答冊子には
複数解答例と自己評価欄

LESSON 19 Living Environment
生活環境について話す

教科書
ACTIVE
LEARNINGの
書きこみ学習

FORMS

(教 p.120-121) 次の日本語を英語にしよう。

A 比べる相手と同じくらいであることを表す（原級を使う比較）
① あの新しいショッピングモールは東京ドームと同じ広さです。
② この町には私の町ほどたくさんの高い建物はありません。

B 比べる相手との差を倍数や分数で表す（倍数や分数を使う比較）
③ この駐車場は私の家の近くの駐車場の3倍の広さです。
④ あの山は富士山の約3分の2の高さです。

C 比べる相手と差があることを表す（比較級を使う比較）
⑤ このスーパーはほかのスーパーよりもいつも混んでいます。
⑥ 私のアパートは実家の家よりずっとせまい。

D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す（比較対象の示し方）
⑦ 私の地元には以前ほど小さなお店がありません。
⑧ 私たちの町の人口はあなたの町よりも少し多いです。

My Sentences

〈 〉の内容になるように，自分のオリジナル英文を作ってみよう。

A 〈同じくらい～だ〉
B 〈～倍…だ〉 This city
C 〈～よりも…だ〉
D 〈… than that[those] of ～〉 The population

38

My Essay

(教 p.122) 教科書の②に書かれた指示に従って，海外の町を紹介する文章を50語程度で書いてみよう。

例 1. 海外の好きな町
2. 比較①
3. 比較②
4. 結び

●書き出した文を文章にまとめてみよう。

Self-Check My Sentences

	文に動詞はあるか	適切な形になっているか	次のことが書けているか
A	□	(as ... as) □	〈同じくらい～だ〉 □
B	□	(倍数＋ as ... as) □	〈～倍…だ〉 □
C	□	(比較級を使う比較) □	〈～よりも…だ〉 □
D	□	(名詞の重複を避ける) □	(... than that[those] of ～) □

解答冊子セルフ・チェックで自己採点

Self-Check

身近な都市と海外の都市の比較について，50語程度で表現できているか □
形容詞や副詞の原級や比較級を使って，比較できているか □
特定の観点に基づいて，2つの都市を比較できているか □

VOCABULARY

次の語（句）や表現を知っているか確認しよう。

□ comfortable □ the atmosphere □ prices
□ lively □ surroundings □ rents
□ quiet □ the population □ utility costs
□ relaxing □ fresh air □ barrier-free
□ stressful □ noise pollution □ public transportation
□ humid □ medical costs □ a tourist spot
□ the climate □ child raising □ local food

自分のことについて
書いた英文を発信の
ためにストックする

39

Clear

教科書の内容
をリスニング
で確認

LESSON 17 都市・町について話す—関係副詞—

教科書 pp.105-108
学参書 pp.313-322

Listening

これから Emily と Kaho の会話と，会話に関する質問が音声で流れます。最も適する答えを1つずつ選んで，記号を記入しなさい。

Q1 a. The place that they're visiting. b. The place where they want to go. (　　)
c. The festival that they want to see. d. The festival that is held in their city.

Q2 a. It's close to the station. b. It's very old. (　　)
c. It has hot springs. d. It has an English-style breakfast.

Vocabulary

次の文の (　　) に入る適語を，[　] の中から1つずつ選んで，記号を記入しなさい。

(1) This terminal is (　　) for people using the express bus. (　　)
(2) You can enjoy the (　　) food of Okinawa, like *champuru* and *soki soba*. (　　)
(3) The downtown area is (　　) with people day and night. (　　)
(4) Shizuoka is (　　) for its tea garden. (　　)
(5) There are many (　　) objects in this museum. (　　)

[a. famous b. convenient c. bustling d. historical e. local]

Writing

1 日本語の意味に合うように，(　　) に適語を入れなさい。
(1) そういうわけで，市は新しい図書館を建設することを決定しました。
(　　) (　　) the city decided to build a new library. C
(2) この町を訪れる人はだれでも，町がいかに美しいのかに驚く。
(　　) (　　) this town is amazed at how beautiful it is. D
(3) 夏は私たちの町で大規模な祭りがある季節です。
Summer is the (　　) (　　) our town has a big festival. B
(4) 東京は約1400万人が暮らす首都です。
Tokyo is the (　　), (　　) about fourteen million people live. A

2 対話が成立するように，(　　) に適語を入れなさい。
(1) A : Here's a photo of the city before it became a bustling capital. A
B : How interesting! I have to find space (　　) I can put it on display.
(2) A : (　　) is that red building over there? A
B : That's the restaurant (　　) we can have the best local food.
(3) A : Wow, this hotel is close to all the tourist attractions! It's so convenient. C
B : Yeah. That's the reason (　　) it's so popular.

48

3 日本語で与えられた状況に合うように，(　　) 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。
(1) 状況 まだ選挙権はないけれど，明日は…。 B
Tomorrow is (the election / governor / when / for / the day) of Tokyo will be held.
_____
(2) 状況 ご当地キャラクターの経済効果がすばらしくて…。 D
(is / of / thought / the local mascot / whoever) a genius!
_____
(3) 「私がいちばん落ち着く公園なの…」 C D
It's quiet. That's (why / there / go / I'm / I / whenever) feeling down.
_____
(4) 状況 訪ねてきた友人に町を案内している。 A
(the statue / where / the / is / that / spot) used to stand.
_____

4 下の [　] 内から (　　) に入る適語を選び，読者に観光地を勧める文を完成させなさい。
New Zealand's Queenstown is a great destination for travelers (　　) are looking for an adventure. Surrounded by mountains and located next to a lake, it's a city (　　) people can enjoy different types of sports. Do you want to try skydiving or bungee jumping? (　　) you want to do, you'll probably be able to find it here. Close to Queenstown, there are places (　　) famous films were shot. That's (　　) there are so many movie-related tours.

[where / where / who / why / whatever]

5 下のイラストに合うように，Yumie と Rachel の対話文を完成させなさい。ただし，英文を書くとき，[　] 内の語句を使うこと。

(1) [the park / see / deer]
(2) [this / restaurant / lunch]

Yumie : I really enjoyed our school trip to Nara.
Rachel : Me too. Look, I took a lot of pictures. (1) This is _____. A
Yumie : (2) _____? A
Rachel : Yes, it is! I liked the traditional Japanese look.

49

Clear

LESSON 1 Meeting People
自分のことを話す

VOCABULARY

(　　) にあてはまる語を下から1回ずつ選んで入れ，表現を覚えよう。

(1) 徒歩通学する (　　) to school (5) 学校へ出発する (　　) for school
(2) 朝食を食べる (　　) breakfast (6) 電車に乗る (　　) a train
(3) 歯を磨く (　　) *one's* teeth (7) 学校に着く (　　) to school
(4) 着替える get (　　) (8) ～で働く (　　) for ...

get / brush / walk / take / leave / work / eat / dressed

FORMS

(教 pp.22-23) 次の日本語を英語にしよう。

A 現在の状態を表す（現在形：状態動詞）
① 私は犬がとても好きです。
② 私の兄はスマートフォンを2台持っています。

B いつもすることを表す（現在形：動作動詞）
③ 私はふだん6時30分に起きます。
④ 私の父は中学で数学を教えています。

C している最中のことを表す（現在進行形）
⑤ 私は歴史の授業のためにレポートを書いています。
⑥ 彼は疲れてきていると思います。

D これからの予定を表す（現在進行形：予定）
⑦ 私のいとこが今日の午後，私たちを訪ねてきます。

2

My Sentences

〈 〉の内容になるように，自分のオリジナル英文を作ってみよう。

A 〈持っているもの〉 I
B 〈ふだんすること〉 I
C 〈今していること〉 I'm
D 〈これからすること〉 I'm

My Essay

(教 p.24) 自分が朝していることを書き出そう。

例 1. 起床 I _____ (～時に起きる) on weekdays.
2. すること① First, _____.
3. すること② After that, _____.
4. 登校 Then, I usually _____ (～へ出発する) school at _____ (～時に).

●接続詞 (and, but, when) や副詞 (first, then) などを使って，朝の習慣を文章にしてみよう。

セルフチェックで自己採点

Self-Check My Sentences

	文に動詞はあるか	動詞の形は正しいか	次のことが書けているか
A	□	(現在形) □	(持っているもの) □
B	□	(現在形) □	(ふだんすること) □
C	□	(現在進行形) □	(今していること) □
D	□	(現在進行形) □	(これからすること) □

My Essay

朝の習慣を2つ以上書けているか	□
朝の習慣を，現在形で書けているか	□
first, then などを使って，時間の流れにそって書けているか	□

3

総合英語・グラマー　ラインアップ

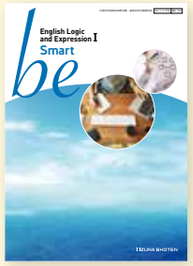
be シリーズ

総合英語 be 4th Edition

例文一致

be English Logic and Expression Ⅰ

Smart



Clear

総合英語 be 準拠グラマー＆ワークブック

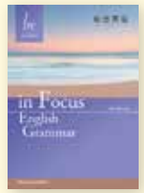
4th Edition準拠改訂版は
2021年10月刊行予定

23 Grammar

26 Grammar

28 Grammar

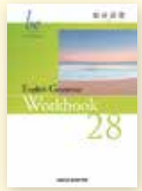
46 Grammar



in focus Grammar

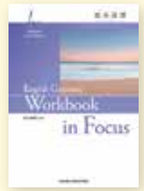
23 Workbook

26 Workbook



28 Workbook

46 Workbook



in focus Workbook

導入教材

改訂

Base Builder
Start-Up 1,2,3

Base Builder

ブラッシュアップ教材

改訂

Endeavor
Step by Step

Endeavor

復習教材

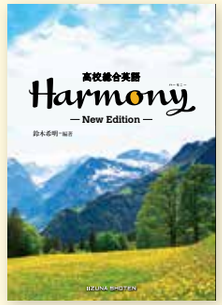
2022年刊行予定

Discover

掲載しているbeシリーズのグラマー, ワークブック, Discoverの表紙は, 2021年4月のもので, 改訂版では変更になります。

Harmony シリーズ

総合高校英語 Harmony New Edition



例文一致

Harmony English
Logic and Expression Ⅰ

準拠グラマー＆ワークブック

2021年10月刊行予定

Now Printing

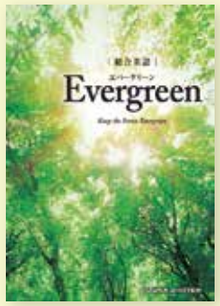
23 Grammar

Now Printing

23 Workbook

Evergreen シリーズ

総合英語 Evergreen



準拠グラマー＆ワークブック

23 Grammar
updated

25 Grammar
updated

27 Grammar
updated

23 Workbook
updated

25 Workbook
updated

27 Workbook
updated

導入教材

Hop! Stage

復習・定着用教材

Jump! Stage

30 Grammar
updated

30 Workbook
updated

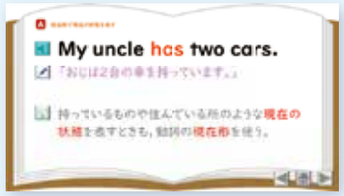
47 Grammar
updated

47 Workbook
updated

指導用パワーポイント　指導資料セットDVD-ROMに収録

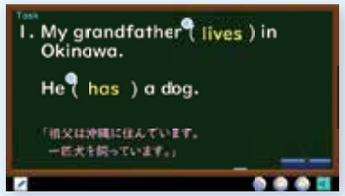
※単体での販売はありません。

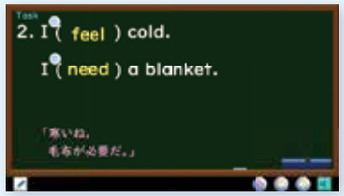
● 基本例文（音声付き）

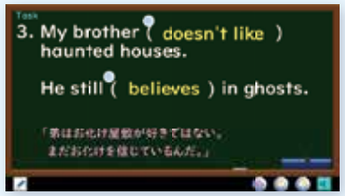


授業・指導内容に合わせて
自由に改変できる
フレキシブルさが魅力。

● 設問と解答







● 本課の導入会話（音声付き：全文読み・ロールプレイ読み）

「指導者用」「学習者用」デジタル教科書（教材）　価格未定

パソコンやタブレットで教科書を表示。
拡大・書き込み可能。
音声再生・解答ポップアップ表示ができます。

クリックすると，ポップアップが立ち上がり，参考書の該当ページを表示します

例文音声の再生・解答の表示（指導者用のみ）

周辺教材

指導用

指導資料セット　Smart　Clear

❶指導書本冊

教科書各ページごとに，問題の解答（例）／文法・表現・発音等の解説と指導法／アクティビティーの解説と指導法などを掲載

❷Teacher's Book

解答／スクリプト／指示文の英訳／CDのトラック番号／指導上の留意点やヒント等を掲載

❸補助プリント

Grammer導入シート／例文暗唱シート／例文練習シート／活動に活用できるワークシートなど，授業や予習復習等に活用できるワークシート集

❹小テスト・評価問題集

小テスト（各課），評価問題集（文法項目ごと全12回）

❺DVD-ROM

- 補助プリント・小テスト・評価問題に加えて，本文データ，本文訳，シラバス・評価基準ほかを収録。
- 自動問題作成プログラム（テストクリエイター）
- 指導用パワーポイント

Teacher's Book（朱書本）　Smart　Clear

上記❷の単体での販売価格になります。

指導用本冊PDF　Smart　Clear

上記❶のPDF版です。

指導用音声CD　Smart　Clear　CD8枚組

収録内容

- コミュニケーションのための英語表現①～③
- 各課　Start-Up／SOUNDS／例文／TASK／CHECK／SHARE／WRITE
- スピーチしてみよう！／パラグラフを書いてみよう！／ディベートをしてみよう！／プレゼンテーションをしてみよう！／ディスカッションをしてみよう！
  KEEP TALKING 1～6／発音記号と発音のしかた

生徒用

Grammar Book

Smart　Clear

定価：各660円（600円+税）

B5判
本冊Smart128頁，Clear120頁
+別冊解答・解説書

Workbook

Smart　Clear

定価：各605円（550円+税）

B5判
本冊Smart72頁，Clear68頁
+別冊解答・解説書

My English Portfolio

Smart　Clear

定価：各220円（200円+税）

B5判
本冊Smart56頁，Clear48頁
+別冊解答・解説書

生徒用音声CD　Smart　Clear　CD1枚 定価：各550円（500円+税）

※本ページに掲載されている仕様および価格等は2021年4月現在のもので，予告なしに変更になることがあります。